

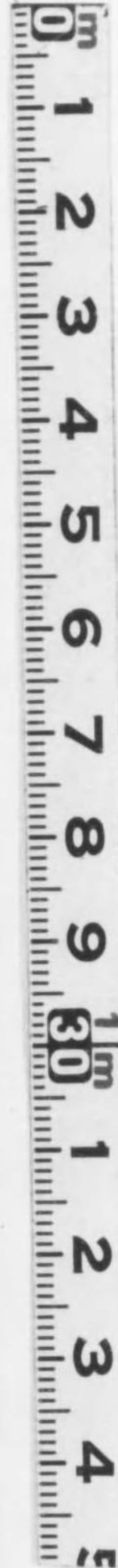


39-17



1200501252827

39  
17



始





3.4.12



昭和二年五月改正

日本燈臺表

燈臺局











728b	803b	164	57b	206b	415b	277b	243	233	202	
油 瀨 立 標	安 洲 標	子 浮 標	塔 臺 標	大 燈 標	港 形 防 波 燈 標	港 江 富 標	沖 町 新 標	島 瀨 無 水 小 標	石 ッ 三 標	岩 ワ ナ 標
瀨 方 瀨 上	洲 瀨 上	子 安 沖	塔 臺 王 塔	大 燈 志 摩 國	港 形 防 波 燈 標	港 江 富 標	沖 町 新 標	島 瀨 無 水 小 標	石 ッ 三 標	岩 ワ ナ 標
33° 58' 132° 31'			34° 16' 136° 54'	45° 12' 141° 8'	34° 27' 135° 58'	32° 38' 128° 47'		33° 47' 132° 23'	34° 2' 132° 33'	34° 25' 134° 8'
年五十五大 月正五	月六年二和昭	月十年二和昭	月九年二和昭	月九年二和昭	月六年二和昭	月八年二和昭	月八年二和昭	月八年二和昭	月八年二和昭	月八年二和昭
高石圓黑 五米九造形	高戴三鐵四紅 三米三標角錐形	混圓白 凝土造形	混圓白 凝土造形	混圓紅 凝土造形	混圓黑 凝土造柱	鐵上圓截紅 部部部頭色	凝下上圓白 土部部鐵造形	凝下上圓白 土部部鐵造形	混四白 凝土造形	凝下上圓紅 土部部鐵造形
		ン光秒光閃第 瓦ヲニニ一十 スヲ發一五等	電 不動白 燈 光	スチ二明明 ワリ秒二暗 セア秒二暗 ワセセ光	ン光分一每閃 ア分ス(紅ヲ ワセチリ)	ス ピンチ 瓦	スチ二明明 ワリ秒二暗 セア秒二暗 ワセセ光	スチ二明明 ワリ秒二暗 セア秒二暗 ワセセ光	スチ二明明 ワリ秒二暗 セア秒二暗 ワセセ光	スチ二明明 ワリ秒二暗 セア秒二暗 ワセセ光
		迄分(北九度 三秒東)	度 全	度 全	度 全	度 全	度 全	七西(南〇 九度)ヨリ 迄	度 全	度 全
		20	45.2	6.7	12.1	9.3	3.	18.0	7.6	11.3
		60	18.5	10	11.5	10弱	8	13	12.5	10
					白光8 紅光6					
●愛媛縣温泉郡神和 村立				●北海道總立	●鐵道省所管	●長崎縣南松浦郡富 江村立	●鐵道省所管	●鐵道省所管	●鐵道省所管	●鐵道省所管

●變更又ハ撤去

以上六月撤去

六月燈質ニ「電燈」ヲ追加シ、明弧ヲ「一九七度(南二四度西)ヨリ五  
四度(北六一度東)ニ、燭光數ヲ「三千八百」ニ、光達距離ヲ「十八哩  
半」ニ改ム

六月位置變更、大山ノ鼻燈標ハ三五九度(北四度二四度東)、金ノ弦  
岬燈標ハ三三三度(北三八度二四度東)、山底ノ鼻燈標ハ五二二度三〇分  
(北五七度五四分東)、水深「八米」ニ改ム

七月霧笛ヲ「每一分時ヲ隔テ五秒吹鳴ス」ト改ム

八月燈質ニ「電燈」ヲ追加シ、燭光數ヲ「三千八百」ニ、光達距離ヲ  
「十四哩」ニ改ム

構造ヲ「白色圓形混凝土造」ニ、基礎ヨリ燈火ニ至ル高ヲ「五米五」  
ニ、平均水面ヨリ燈火ニ至ル高ヲ「三十七米七」ニ改ム(四月實施八  
月告示)

八月名稱ヲ「築地燈臺」ト改ム

八月撤去

八月位置移轉、金ノ弦岬燈標ハ二七一度三〇分(北八三度六分西)、  
山底ノ鼻燈標ハ三〇〇度一〇分(北五四度二六分西)、弟子待鼻立標  
ハ三五二度一〇分(北二二度二六分西)、水深「十米五」ニ改ム

●一時的變更更新設又ハ撤去

昭和二年一月設置 同六月撤去

七月改造ノ爲休止、七月吹鳴時變更ノ上復舊

七月休止、八月復舊

六月五日流失、同八日復舊

八月一日ヨリ十五日迄修理ノ爲撤去

九月七失

崩壞(九月告示)

七月改築ノ爲メ假設燈竿ニ變更セシカ十月中旬本燈ニ復舊ノ豫定

金伏掛燈浮標 (293)  
 金伏東掛燈浮標 (304)  
 金伏西掛燈浮標 (305)  
 船川燈臺 (344)  
 高瀬掛燈浮標 (373)  
 白神岬霧信標 (41)  
 宇野港燈竿 (307)  
 梶取塔燈臺 (107)  
 名古屋港導燈前燈 (147)  
 同後燈 (148)  
 大里沖掛燈浮標 (378)  
 大瀬戸沈船々首及同船尾掛燈浮標 (41)  
 白神岬霧信標 (41)  
 南三山島霧信標 (303)  
 鹿兒島掛燈浮標 (306)  
 鹿兒島港假設掛燈浮標 (307)  
 險礁立標 (793)  
 牛ノ子礁立標 (792)  
 五島白瀨燈臺 (417)









昭和二年五月改正

本  
燈  
臺  
表

燈

臺

局



乃寄贈本



別種質燈

39-17

DIAGRAM OF LIGHTS.

光閃動不成聯  
FIXED & FLASHING



動不  
FIXED



光交閃  
ALTERNATING FLASHING



暗明  
OCCULTING



閃連二  
DOUBLE FLASHING



暗明連復  
GROUP OCCULTING



光交閃連  
ALTERNATING GROUP FLASHING



光互  
ALTERNATING



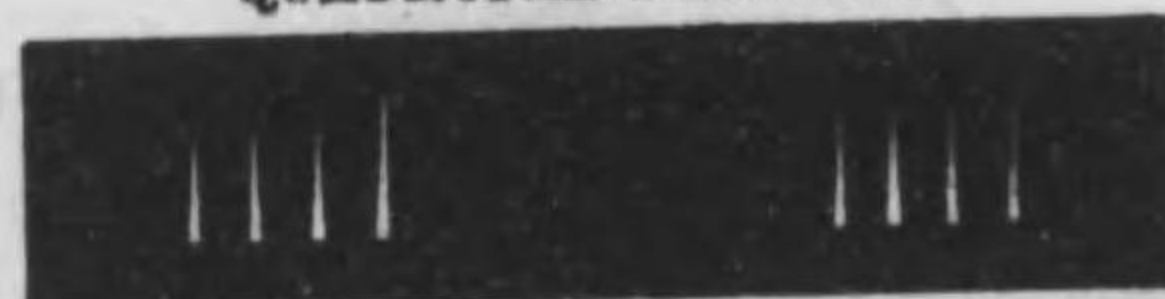
閃連三  
TRIPLE FLASHING



光閃  
FLASHING



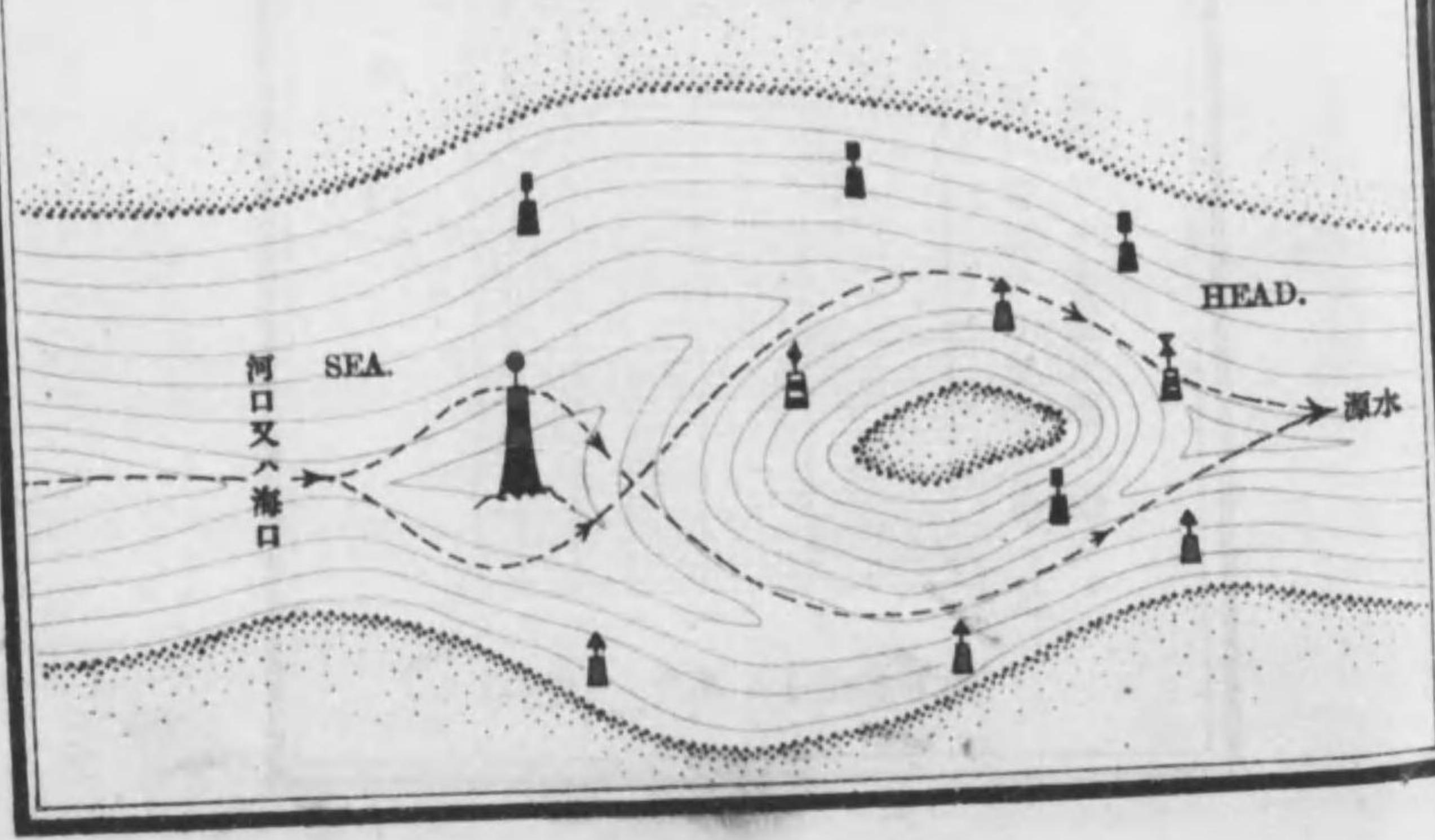
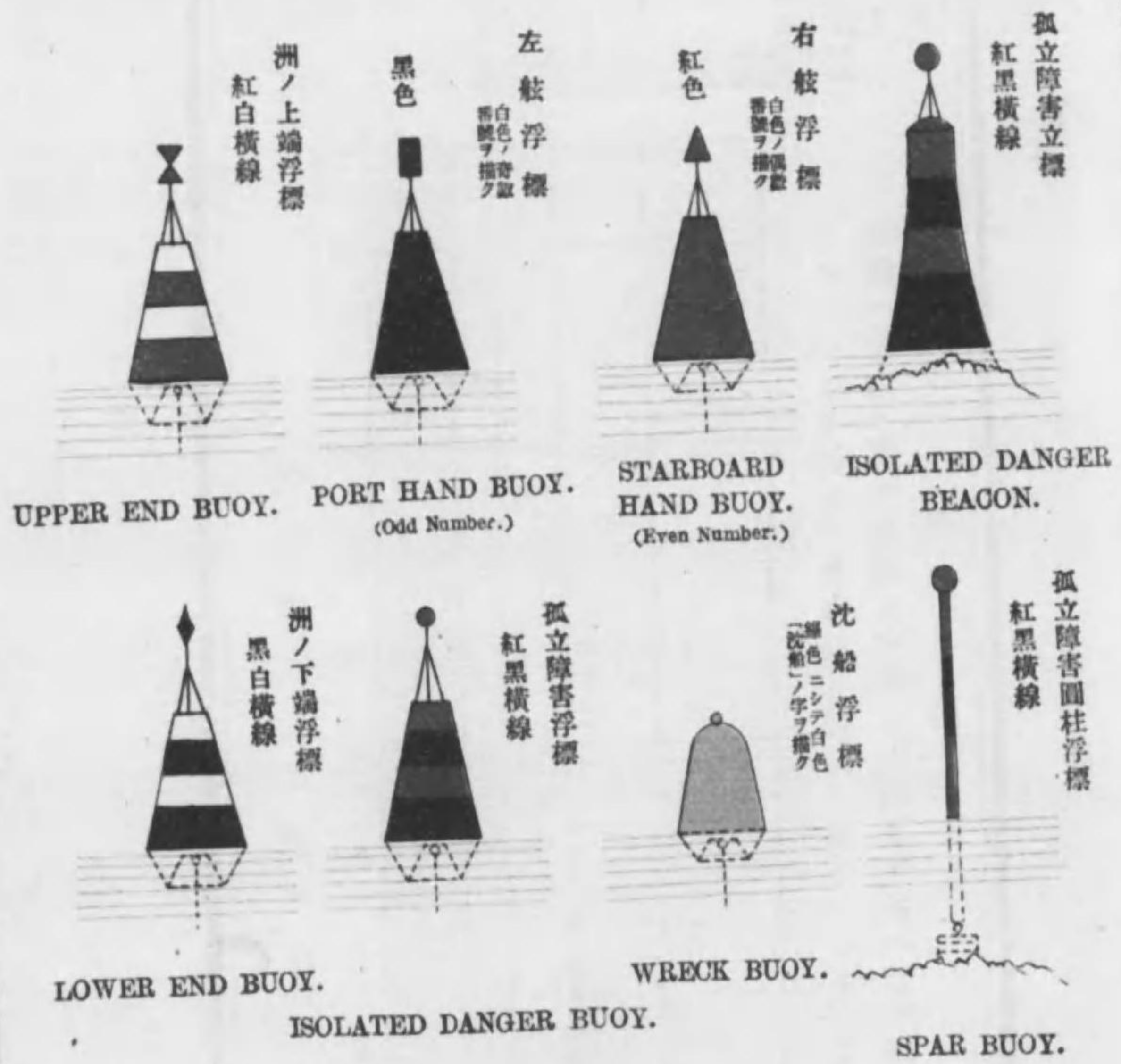
閃連四  
QUADRUPLE FLASHING



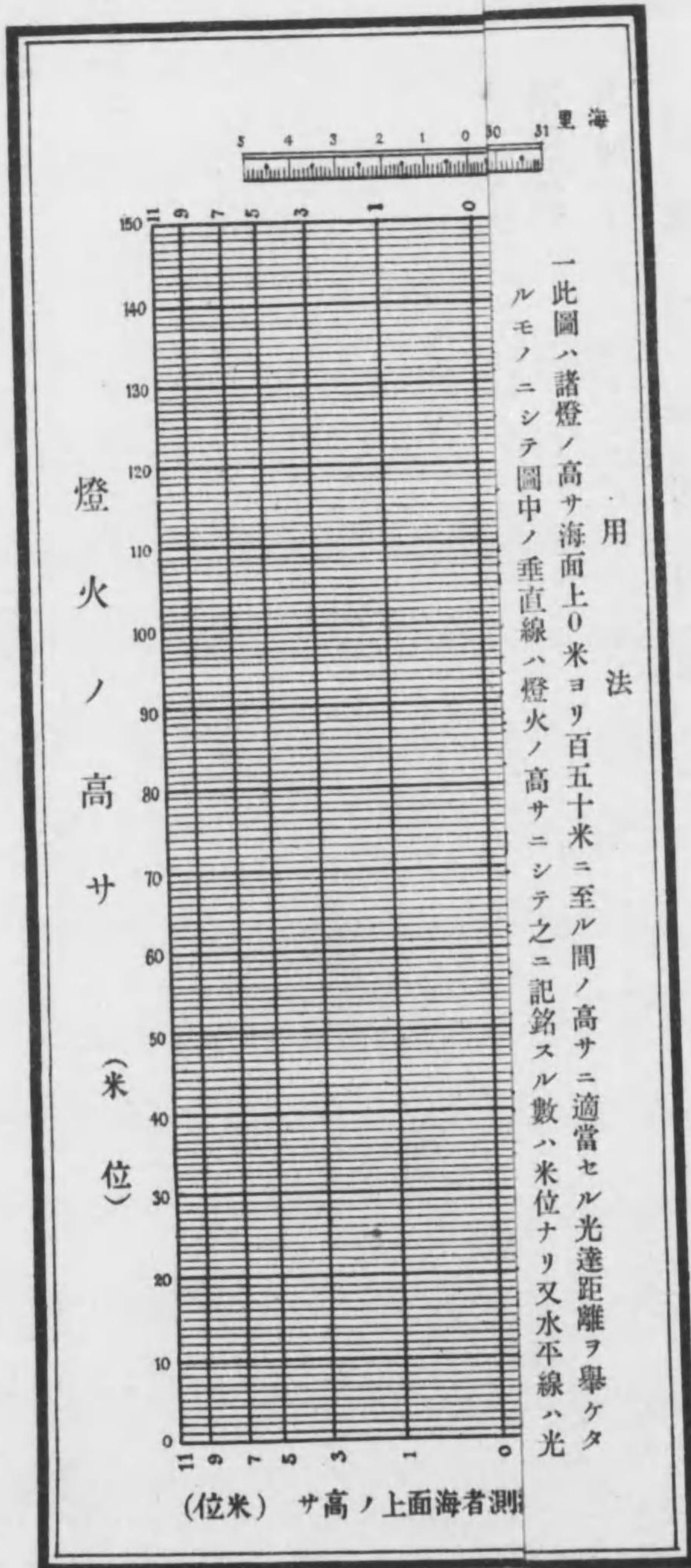


別種標立及標浮

System of Buoys, etc., Showing Colours, Shapes and Positions.

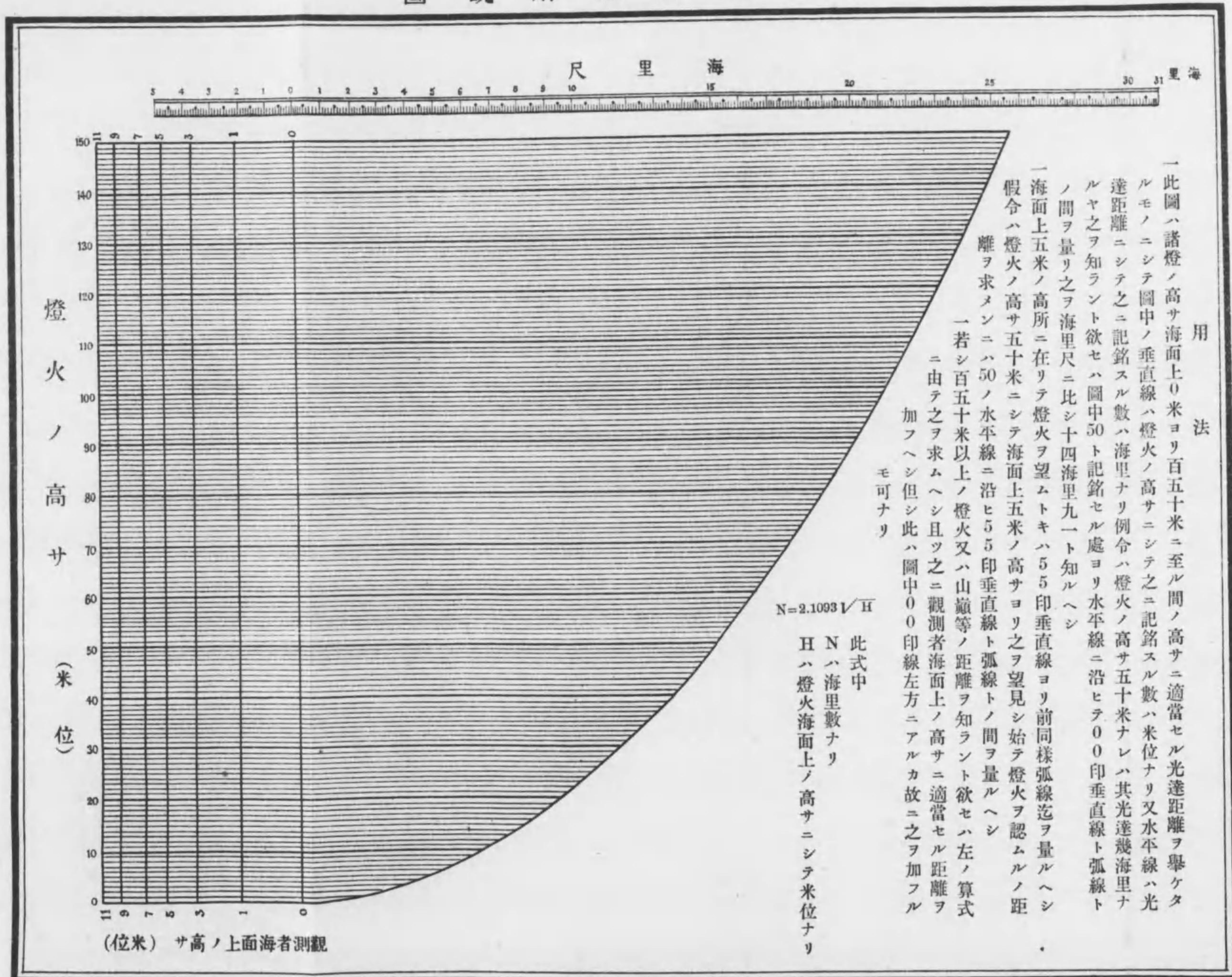








# 光達距離解說圖



用法

一若シ百五十米以上ノ燈火又ハ山巔等ノ距離ヲ知ラント欲セハ左ノ算式  
ニ由テ之ヲ求ムヘシ且ツ之ニ觀測者海面上ノ高サニ適當セル距離ヲ  
加フヘシ但シ此ハ圖中00印線左方ニアルカ故ニ之ヲ加フル  
モ可ナリ

一海面上五米ノ高所ニ在リテ燈火ヲ望ムトキハ55印垂直線ヨリ前同様弧線迄ヲ量ルヘシ  
假令ハ燈火ノ高サ五十米ニシテ海面上五米ノ高サヨリ之ヲ望見シ始テ燈火ヲ認ムルノ距  
離ヲ求メンニハ50ノ水平線ニ沿ヒ55印垂直線ト弧線トノ間ヲ量ルヘシ

一此圖ハ諸燈ノ高サ海面上ヨリ百五十米ニ至ル間ノ高サニ適當セル光達距離ヲ舉ケタ  
ルモノニシテ圖中ノ垂直線ハ燈火ノ高サニシテ之ニ記銘セル數ハ米位ナリ又水平線ハ光  
達距離ニシテ之ニ記銘セル數ハ海里ナリ例令ハ燈火ノ高サ五十米ナレハ其光達幾海里ナ  
ルヤ之ヲ知ラント欲セハ圖中50ト記銘セル處ヨリ水平線ニ沿ヒテ00印垂直線ト弧線ト  
ノ間ヲ量リ之ヲ海里尺ニ比シ十四海里九一ト知ルヘシ



# 日本燈臺表目次

## 凡例

### 法令拔抄

刑法拔抄	一三
太政官布達(私設燈標禁止)	一三
告示(燈標設置ニ關スル金錢物品ノ献納)	一四
航路標識條例	一四
朝鮮航路標識規則	一五
臺灣航路標識規則	一七
南洋群島航路標識規則	一八
遞信省訓令(公設航路標識設置手續)	一九
北海道廳府縣及區町村立航路標識看守條規	一九
朝鮮總督府告示(鴨綠江、大同江、漢江及廣梁灣航行注意)	二〇
無線方位測定通信規則	二二



無線電信ニ依ル航行警報放送

船舶通航、潮流信號規程

船舶通報規則

燈臺

燈竿、霧燈、燈標及掛燈浮標

霧信號

霧笛、霧鐘、霧砲、爆發信號、水中信號

樺太北緯五十度以南

北海道北岸、東岸、及南岸

北海道西岸

本州北岸又東岸

本州南岸

内海(瀬戸内)

本州北西岸

四國東岸、南岸及西岸

九州東岸及南岸

九州西岸及北岸

南西諸島

二九

三〇

三四

一

四

一〇

一五

二二

三八

六四

七五

七八

八三

九二

朝鮮東岸

朝鮮南岸

朝鮮西岸

關東半島

臺灣北岸及東岸

臺灣南岸及西岸

臺灣澎湖列島

西カロリン群島

無線羅針局(無線方位霧信號)

船舶通航信號

潮流信號

立標

内地

朝鮮

關東半島

九四

一〇一

一〇八

一一一

一二六

一三〇

一三三

一三五

一三六

一三八

一四一

一四三

一四九

一五六



浮標	
内地	一五七
朝鮮	一六五
關東半島	一七六
臺灣	一七七
沿岸別航路標識數調	一七八

凡例

- 一 本表ニハ本邦領域及關東半島租借地沿岸並ニ南洋廳所管南洋群島ノ航路標識ヲ登載ス
- 一 航路標識ノ種類ハ燈臺、燈竿、燈船、導燈、燈標、挂燈浮標以上單ニ夜標ト概稱スルコトアルヘシ、立標、陸標、導標、浮標、漆標以上單ニ晝標ト概稱スルコトアルヘシ、霧笛、霧鐘、霧砲、爆發信號、水中信號以上單ニ霧信號ト概稱スルコトアルヘシ、船舶通航信號、潮流信號及無線羅針局並ニ無線標識局業務トス
- 一 經緯度ハ近時出版ノ海圖或ハ報告ニヨリ改正セシモノヲ舉ク、但シ無線羅針局並ニ無線標識局業務以外ハ概位置ヲ示ス趣旨ナルニヨリ分位ニ止メ三十秒以上ハ分ニ算入シ未滿ハ之ヲ省ク
- 一 明弧トハ燈光ノ海面ヲ照輝スル部分ヲ謂フ、明弧中異色ノ燈光ヲ顯ハス部分ヲ分弧ト稱ス
- 一 方位ハ眞方位正北ヲ零トスニ據リ燈光區域ノ方位ハ海上ヨリ燈臺ニ向テ測定シ度位ニ止メ三十分以下ハ之ヲ省ク但シ當分ノ間括弧内ニ磁針方位ヲ併記ス
- 一 高サ及水深ハ米ヲ用ヒ五拾六入法ニヨリ10米迄ニ止ム(一米ハ曲尺三尺三寸)
- 一 燈火及立標ノ高サハ平均水面ヨリ測定ス
- 一 水深ハ大低潮時ノ水面ヨリ測定ス
- 一 里法ハ裡又ハ鏈ヲ用フ一裡ハ即チ一緯度ノ六十分一ニシテ凡ソ一八五一米八一八(十六町九分七厘五毛)一鏈ハ一裡ノ十分一ナリ

凡例



一 光達距離ハ清朗ノ夜大高潮平均水面上五米(一丈六尺五寸)ノ處ニ在ルモノ暗中始メテ燈火ヲ認メ得ヘキ距離ヲ舉ケタルモノナレハ天候及潮ニ由テ差アルモノトス

一 燈火ハ日没ヨリ日出マテ點ス

一 霧信號ハ霧雪其他冥濛ナル天候ニ之ヲ執行ス

一 燈臺<sup>不必要ノ場所</sup>燈船ニ於テハ萬國船舶信號法ニ據リ信號ヲナス

一 左記燈臺ニ於テハ船舶通報取扱規則ニ依リ船舶ノ通過報及信號報ヲ取扱フ

西能登呂岬燈臺、稚内燈臺、神威岬燈臺、尻矢崎燈臺、金華山燈臺、犬吠崎燈臺、劍崎燈臺、神島燈臺、潮岬燈臺、日ノ御崎燈臺、大角鼻燈臺、佐田岬燈臺、六連島燈臺、神崎燈臺、大瀬崎燈臺、佐多岬燈臺、絶影島燈臺、港門島燈臺、小青島燈臺、鷺鬚鼻燈臺

一 燈等級ハ折射器ノ内徑ヲ以テ分チ内徑大ナルモノハ大ナル火口ヲ備フ其折射器ノ大小火口ノ光力左ノ如シ

名稱等級	折射器ノ内徑突米	折射器ノ高突米	一 等	二 等	三 等	三等小	四 等	五 等	六 等	等 外
	一、八四〇	二、五九〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、〇〇〇	七五〇	五〇〇	三七五	三〇〇	三〇〇
			一、四〇〇	二、一一七	一、〇〇〇	一二五〇	七二二	五四一	四三三	二七〇
			一、三〇〇		一、三〇〇					

□ 燈等級並ニ光力

火口ノ燭光數		石 油	石油蒸發燈	石 瓦
石	油	二二〇	一、〇〇〇 一、五〇〇 〇〇〇	一、〇〇〇 一、三〇〇 〇〇〇
石	油	一三〇	一、〇〇〇 六〇〇 七〇〇	一、〇〇〇 六〇〇 四〇〇
石	油	一三〇	一、〇〇〇 六〇〇 七〇〇	一、〇〇〇 六〇〇 四〇〇
石	油	一三〇	一、〇〇〇 六〇〇 七〇〇	一、〇〇〇 六〇〇 四〇〇
石	油	一三〇	一、〇〇〇 六〇〇 七〇〇	一、〇〇〇 六〇〇 四〇〇
石	油	一三〇	一、〇〇〇 六〇〇 七〇〇	一、〇〇〇 六〇〇 四〇〇
石	油	一三〇	一、〇〇〇 六〇〇 七〇〇	一、〇〇〇 六〇〇 四〇〇
石	油	一三〇	一、〇〇〇 六〇〇 七〇〇	一、〇〇〇 六〇〇 四〇〇
石	油	一三〇	一、〇〇〇 六〇〇 七〇〇	一、〇〇〇 六〇〇 四〇〇
石	油	一三〇	一、〇〇〇 六〇〇 七〇〇	一、〇〇〇 六〇〇 四〇〇

茲ニ謂フ一燭光トハ一時間ニ鯨蠟製<sup>石蠟又ハ木蠟</sup>蠟燭ノ重量百二十「ゲイレン」ヲ消費スル光力ニシテ之レト他ノ單位トヲ比較スレハ左ノ如シ

燭 光 數	ボギ一小數	ピオール單位	燭 光 數	ボギ一小數	ピオール單位
一	一〇一	〇〇五	一〇〇〇	一〇一〇	五〇
五	五〇五	〇二五	五〇〇〇	五〇五〇	二五〇
一〇	一〇一〇	〇五	一〇〇〇〇	一〇一〇〇	五〇〇
五〇	五〇五〇	二五	五〇〇〇〇	五〇五〇〇	二、五〇〇
一〇〇	一〇一〇〇	五	一〇〇〇〇〇	一〇一〇〇〇	五、〇〇〇
二〇〇	二〇二〇〇	一〇	五〇〇〇〇〇	五〇五〇〇〇	二五〇〇〇〇



三〇〇	三〇三	一五	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇一〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇
四〇〇	四〇四	二〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇五〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇
五〇〇	五〇五	二五			

一 光力ハ折射器外ニ於テ量リシ燭數若クハ之ニ相當スル燭數ヲ示ス、但シ折射器光力ノ強弱ハ直接其等級ニノミ比準シ能ハサルモノナリ

一 光力ハ一千燭光ヲ單位トシテ之ヲ示ス

二千燭光以上ノ光力ハ最近半單位ヲ以テ算ス

例セハ二千燭光ヨリ二千二百五十燭光マテハ二千燭光ニ近キヲ以テ示シ、二千二百五十一燭光ヨリ二千七百五十燭光マテハ二千五百燭光ニ近キヲ以テ示シ又二千七百五十一燭光ヨリ三千二百五十燭光マテハ三千燭光ニ近キヲ以テ示シ又三千二百五十一燭光ヨリ三千二百五十燭光ニ近キヲ以テ示ス

二千燭光未滿ハ最近四分一單位、千燭光未滿ハ最近十分一單位ヲ以テ算ス、但シ一百燭光未滿ハ1/10弱トス

□ 照 光 器

反射 Catoptric (C.) 金屬ノ反射器ニ因テ其光ヲ反照スルモノ

折射 Dioptric (D.) 凸鏡或ハ三角玻璃ニ因テ其光ヲ屈折スルモノ

反折合射 Catadioptric (C.D.) 兩者連絡ノ組織ニ成ルモノ

□ 燈 質

不動 Fixed (F.) 一定ノ光力ヲ持續スルモノ

明暗 Occulting (Occ.) 不動光ニシテ一定ノ間隙毎ニ俄然一回ノ全暗ヲ現スモノ但シ明間ハ暗間ト同一ナルカ若クハ稍長キヲ例トス

複連明暗 Group Occulting (Gp. Occ.) 不動光ニシテ一定ノ間隙毎ニ俄然二回以上ノ全暗ヲ呈スルモノ

互光 Alternating (Alt.) 異色(概ネ紅白)ノ光ヲ交互ニ發シ其間ニ毫モ暗黒ヲ挾マサルモノ

閃光 Flashing (Fl.) 單閃光ヲ閃發スルモノニシテ暗黒ノ存續ハ常ニ閃光ノ存續ヨリ長キモノ

閃交光 Alternating Flashing (Alt. Fl.) 閃光燈ニシテ異色ノ單閃光ヲ交互ニ發スルモノ

連閃 Group Flashing (Gp. Fl.) 二個若クハ二個以上ノ閃光ヲ幾許カノ暗黒ヲ隔テ、連發スルモノ

連閃交光 Alternating Group Flashing (Alt. Gp. Fl.) 連閃燈ニシテ異色ノ閃光ヲ交フルモノ

聯成不動閃光 Fixed and Flashing (F.Fl.) 閃光燈ニシテ暗黒ノ代リニ弱キ不動光ヲ存スルモノ

□ 立標浮標位置

- 一 立標及浮標位置ハ經緯度ヲ以テ示サル時ハ該標ヨリ其附近目標ノ概真方位又ハ夾角ヲ以テ之ヲ示ス
- 一 河川又ハ海峡ニ於テ左舷又ハ右舷ト曰フハ河口又ハ海口ヨリ水源ニ溯ル船ヨリ其左右ヲ稱ス



- 一 海峽又ハ内海ニ於ケル水源ノ區分ハ紛亂シ易キヲ以テ之ヲ左ニ示ス
  - 内海ハ神戸港ヲ以テ水源トス
  - 下關海峽ハ西口ヲ海口トシ東口ヲ水源トス
  - 八代海灣ハ長島海峽ヲ海口トシ三角港ヲ水源トス
  - 島原海灣ハ大託間島ヲ水源トス
  - 洲堆ハ水源ニ近キ方ヲ上端トシ遠キ方ヲ下端トス

立標種別

左舷障害立標	黒	色ニ塗ル	
右舷障害立標	紅	色ニ塗リ	
孤立障害立標	紅黒横線ニ塗ル		

浮標種別

種別	形状	目標	塗色	記事
左舷浮標	圓錐形	圓筒形	黒	奇數番號ヲ描ク
右舷浮標	圓錐形	三角形	紅	偶數番號ヲ描ク

沈船浮標	孤立障害浮標	洲ノ上端浮標	洲ノ下端浮標
圓錐形	圓錐形	圓錐形	圓錐形
球	立五形	立五形	菱
綠	紅黒横線	紅白横線	黒白横線
色			
一面「沈船」他面「Wreck」ト白書ス			

圓柱形浮標ニシテ目標ヲ戴キタルモノヲ時宜ニヨリ碇置スルコトアルヘシ其着色等ハ碇置ニ應シテ示スモノトス

- 一 當時看守員ヲ置カサル夜標ニ於テハ萬一燈火消滅ノ場合其復舊ニ多少ノ時間ヲ要スヘシ
- 一 霧信號ノ音達ハ大氣ノ狀況及地勢等ニ依リテ左ノ如キ事情アルカ故ニ霧信號ノミヲ過度ニ信賴スルコト能ハサルト共ニ鍾鉛探深ヲ怠ルヘカラサルコトヲ航海者ニ豫告ス又見張人ハ成ルヘク音響ノ聴取ヲ妨ケサル場所ヲ擇ヒ配置スルヲ要ス
- 一 音響ノ強弱及方向ニ依リテ霧信號所ノ方向及距離ヲ判知シ能ハサルコトアリ
- 一 高調低調ノ聯成霧笛ハ時トシテ其二音ノ一ヲ聴キ得サルコトアリ
- 一 霧信號所附近ニ於テモ時トシテハ音響ヲ聴キ得サル區域アルコトアリ



一海上ニ於テハ既ニ霧ノ發生アルモ其狀況ニ依リテハ霧信號所ヨリ之ヲ認識シ能ハサル爲メ霧信號ヲ開始セサルコトアリ

一霧ヲ認ムルモ發動機ヲシテ其活動ヲ始メシムル用意整フ迄ニハ多少ノ時間ヲ要スルコトアリ

一霧信號ノ音響ハ甲板ニテ聽クヲ得サルモ檣上ニテ之ヲ聽取シ得ルコトアリ

一從來私設ノ航路標識ニシテ其構造及點燈方法等不完全ノモノハ本表ニ掲載セス

一告示ニ記載セラレサリシ燭光數ニシテ其後判明ノモノハ便宜之ヲ表中ニ掲ケタリ

一其年五月三十一日迄ニ告示済ノモノ及同日迄ニ工事完了シタル航路標識ハ同日點燈ノ運ヒニ至ラサルモ本表ニ掲載ス

一航路標識ノ改築、改造又ハ燈器ノ變更セラレタルモノハ其年若クハ其翌年發行ノ日本燈臺表ニ限リ其改築改造又ハ變更ノ年月及事項ヲ記事欄ニ記載ス

一航路標識ハ逐時増減變更アルヲ以テ最新ノ燈臺表ニアラサレハ之ヲ信用スル勿レ

大正十五年六月一日以降昭和二年五月三十一日迄ニ新設撤廢又ハ變更セル航路標識ハ左ノ如シ

但古ク建設セラレシモノ又ハ未告示ノモノモ便宜新設ノ部ニ編入ス

大同江及鴨綠江ニ於ケル浮標及立標ハ毎年結氷中全部撤去シ解氷後碇置スルモノナルヲ以テ前年ト同一ナラサルモノアルモ異動表ニハ之カ記載ヲ省略ス

新設

- 燈 臺 ● 釧路港北防波堤、内海港防波堤、玄海大島、宇津港北防波堤、深浦港防波堤、輪島港防波堤、土崎港、長濱港防波堤(以上内地)
- 蘇澳(臺)
- 燈 竿 ● 高濱城山、徳島港、向後埼(以上内地)
- 九龍浦(朝鮮)、● 大板埼假設(臺)
- 賀露、内海港(以上内地)
- 導 燈 ● 徳島港(内地)、● 釜山南防波堤、城津北(以上朝鮮)
- 挂燈浮標 ● 青森港第一、同第二、四日市港、鹿兒島港假設、神戸港假設第一、同第二、同第三、同第四、後瀬、函館港第一號、若松港第一號、同第二號(以上内地)
- 霧信號 ● 鹽屋崎(霧内地)
- 立 標 ● 寺島水道(内地)、● 紅石礁(關東州)
- 導 標 ● 大同港狸岩島(朝鮮)
- 浮 標 ● 若津港、若松港第一號航路、同第二號、同第三號、同第四號、同第五號、同第六號、同第七號、同第九號、同第十一號(内地)



撤去

燈臺 ● 兒屋ノ川口(地内)

燈竿 ● 内海港(地内)、● 九龍浦假設(鮮朝)

燈標 ● 釜山假設南(鮮朝)

挂燈浮標 ● 長濱港假設(地内)

浮標 ● 紅石礁(關東州)、若松港第一號、同第二號(地内以上)

改築

燈臺 ● 城ヶ島、室蘭、大島(地内以上)

燈標 ● 羽根田(舊燈臺撤去(地内))

導標 ● コヅカミ礁後列右標(A)(地内)

變更

燈臺 ● 關崎、平館、安岐崎(燭光)。酒田(明)。尼ヶ崎突堤燈。

● 戸島、石室崎、等、燭光。小樽港南防波堤(名(地内以上))

● 大連東港口北、燭光。● 小青島(燭光(鮮朝))

● 博奕岬(燭光(地内))

訂正

燈臺 ● 燒津(經緯(地内))

導燈 ● 松島(經緯(地内))

挂燈浮標 ● 大瀬戸沈船々首、同船尾(置(地内))

一時的新設撤去、休止復舊、變更復舊

燈臺 ● 大島假設(撤去)、城ヶ島假設(撤去)、羽根田(變更、明)

導燈 ● 油津港低燈(光達距離)。伏木港高燈(燭光數、(地内以上))

● 淡水低燈(燭光數、(灣臺))

燈標 ● 城津南(名稱、燭光數、(鮮朝))

挂燈浮標 ● 名古屋外港第一號、同第二號、名古屋港第二號、同第四號、同第六號、同第八號、同第十號(置(地内以上))

霧信號 ● 室蘭(燭光發信號ヲ、霧笛ニ變更、青森港西防波堤霧笛(置(地内以上))

● 大連東港口南(霧角ヲ霧(關東州))

導標 ● 載寧江東新興里(九洞浦ヲ改稱、同石支洞ヲ改稱(鮮朝))

● イガイ根(置(地内))



尼ヶ崎突堤假燈ニ變更、去、梶取崎消燈(内地)

燈 竿 ●前芝休燈(内地) ●大連港寺兒溝復舊(關東)

導 燈 ●油津港高燈消燈、復舊、石狩川口點燈期(内地)

●大連港消燈(關東)

●海口高燈、同側燈、休燈(灣)

挂燈浮標 ●早柄瀬戸沈船撤去、鹿兒島撤去、青森港第一號、同第二號消燈名古屋港外港第三號、同第四

號再從、鮫港假設休燈(内地) ●元山第一號著名色位(朝鮮)

霧信號 ●安渡移矢岬、大島、釧路港南防波堤、汐首岬、室蘭(回)福山(回)休燈(内地) ●於青島休燈(朝鮮)

●黃白嘴吹鳴(關東)

導 標 ●コヅカミ礁後列右標(A)倒壞(内地)

浮 標 ●淡水流失(灣)

航路標識ニ關スル法令抜抄

□ 刑

法 明治四十年四月二十四日  
第四十五號

第二百五條 (第一項略)

燈臺又ハ浮標ヲ損壞シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ艦船ノ往來ノ危險ヲ生セシメタルモノ亦同シ(二年以上ノ有期懲役ニ處ス)

第二百二十七條 第二百五條ノ罪ヲ犯シ(中略)艦船ノ覆沒若クハ破壞ヲ致シタル者亦前條ノ例ニ同シ

第二百二十八條 (前略)第二百五條(中略)未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百二十九條 遺失ニ因リ(中略)艦船ノ往來ノ危險ヲ生セシメ(中略)又ハ艦船ノ覆沒若クハ破壞ヲ致シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

其業務ニ從事スル者前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ三年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

□ 太政官布達 明治十八年六月  
第十一號

明治五年十月第三十二條布達ヲ廢止シ自今燈標(航路標識)私設ヲ禁止ス

但既設燈標(航路標識)ニシテ從前船舶ヨリ其費用ヲ徵セサルモノハ來ル明治二十八年ヲ限リ廢止シ其費用



徵收願濟年限ナキモノハ此際相當ノ期限ヲ定メ更ニ工部省へ願出ツヘシ明治二十五年十一月逓信省令第十六號ヲ以テ但書中明治二十五年ヲ明治二十八年ト改正ス

○ 告 示 明治二十年二月 第十七號

郵便電信事業及燈標(航路標識)設置ニ關スル人民金錢物品ノ獻納ハ特ニ之ヲ許可スヘシ

○ 航路標識條例 明治二十一年十月 勅令第六十七號

第一條 航路標識ハ航路ノ安寧ヲ保護スル爲メ政府ニ於テ之ヲ設置スルモノトス

第二條 土地ノ形狀又ハ情況ニ由リテハ地方税又ハ區町村費ヲ以テ航路標識ヲ設置スルコトヲ得此場合ニ於テハ地方長官ニ於テ逓信大臣ノ許可ヲ受クヘシ

從來私設ノ航路標識ハ免許年間之ヲ繼續スルコトヲ得

逓信大臣ニ於テ前二項ノ航路標識不完全ニシテ危害アリト認メタルトキハ之ヲ變更又ハ撤去セシムルコトヲ得政府ニ於テ直接管理ヲ必要トスルトキハ相當ノ價格ヲ以テ第一項第二項ノ航路標識ヲ買上クルコトヲ得

第三條 航路標識ヲ損壞シ又ハ移轉シ又ハ其性質ヲ變更シ又ハ之ヲ蔽遮スヘキ行爲ヲ爲シ又ハ逓信大臣ノ指定シタル區域内ニ於テ航路標識ノ燈光若クハ警號ト誤認シ易キ行爲ヲナシタル者ハ十一日以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條 航路標識ニ般筏其他ノ物ヲ繫キ又ハ衝突セシメ又ハ攀躋シ又ハ之ヲ汚穢シタル者ハ五錢以上一圓九十錢以下ノ科料ニ處ス

○ 朝鮮航路標識規則 大正七年十月十九日 朝鮮總督府令第百號

第一條 朝鮮ニ於ケル航路標識ハ航路ノ安寧ヲ保護スル爲メ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ設置ス

第二條 土地ノ狀況ニ因リ地方費又ハ府面ノ費用ヲ以テ航路標識ヲ設置スルコトヲ得

前項ニ依リ航路標識ヲ設置セムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ其位置又ハ性質ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第三條 航路標識ノ設置ノ許可申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

- 一 位置ヲ記載シタル書面
- 二 構造方法書
- 三 工事費概算書
- 四 工事設計圖
- 五 位置及附近ノ狀況ヲ示セル圖面
- 六 最近一年間ニ於ケル通過又ハ出入ノ船舶數調書



七 管理及維持方法書

航路標識ノ位置變更ノ許可申請書ニハ前項第一號及第五號ノ書類及圖面ヲ性質變更ノ許可申請書ニハ第二號乃至第四號及第七號ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

第四條 航路標識ノ設置又ハ變更ノ許可ヲ受ケタル者供用ヲ開始セムトスルトキハ其ノ期日十四日前ニ之ヲ朝鮮總督府逓信局長官ニ届出ツヘシ

第五條 第二條ノ航路標識ヲ停止又ハ廢止セムトスルトキハ其ノ期日ヲ定メ朝鮮總督府ノ許可ヲ受クヘシ

第六條 第二條ノ航路標識ノ看守ニ從事セシムル爲メ地方費又ハ府面ノ費用ヲ以テ看守員ヲ置クヘシ

前項ノ航路標識看守員ヲ採用シタルトキハ其ノ履歷書ヲ具シ朝鮮總督府逓信局長官ニ届出ツヘシ

第七條 第二條ノ航路標識ニ於テ使用スル燈油其ノ他點燈用ノ消耗品ニ付テハ豫メ朝鮮總督府逓信局長官ノ承認ヲ受クヘシ

第八條 朝鮮總督府ニ於テ第二條ノ航路標識不完全ニシテ危險ノ虞アリト認ムルトキハ其ノ廢止、修理其ノ他必要ナル措置ヲ命スルコトアルヘシ

第九條 航路標識ヲ損壞シ若ハ移轉シ又ハ其ノ性質ヲ變更シ又ハ之ヲ蔽遮スヘキ所爲ヲ爲シ又ハ朝鮮總督府指定シタル區域内ニ於テ航路標識ノ燈光若クハ警號ト誤認シ易キ所爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 航路標識ニ船隻其他ノ物ヲ繫留シ若クハ衝突セシメ又ハ繫躋シ若クハ之ヲ汚穢シタル者ハ科料ニ處ス

附 則

本令ハ大正七年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

□ 臺灣航路標識規則 明治三十一年五月二十一日 臺灣總督府令第二十六號

第一條 臺灣ニ於ケル航路標識ハ航路ノ安寧ヲ保護スル爲メ臺灣總督府ニ於テ之ヲ設置スルモノトス

第二條 土地ノ形狀又ハ情況ニ由リ一個人又ハ共同團體ノ費用ヲ以テ航路標識ヲ設置セムトスルトキハ地方長官ヲ經由シ臺灣總督府ノ許可ヲ受クヘシ 但シ船舶ニ對シ其費用ヲ徵收スルコトヲ許サス

臺灣總督府ニ於テ前項ノ航路標識不完全ニシテ危害アリト認メタルトキハ之ヲ變更シ又ハ撤去セシムルコトアルヘシ

臺灣總督府ニ於テ直接管理ヲ必要トスルトキハ相當ノ價格ヲ以テ前項ノ航路標識ヲ買上ルコトアルヘシ

第三條 標識ヲ損壞シ又ハ移轉シ又ハ其ノ性質ヲ變更シ又ハ之ヲ蔽遮スヘキ所爲ヲ爲シ又ハ臺灣總督府ノ指定シタル區域内ニ於テ航路標識ノ燈光若クハ警號ト誤認シ易キ所爲ヲ爲シタルモノハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條 航路標識ニ船隻其他ノ物ヲ繫キ又ハ衝突セシメ又ハ躋躓シ又ハ之ヲ汚穢シタルモノハ一圓九十五錢以



下ノ科料ニ處ス

南洋群島航路標識規則 大正十四年十月二十三日  
南洋廳令第十三號

第一條 南洋群島ニ於ケル航路標識ハ航路ノ安寧ヲ保護スル爲南洋廳ニ於テ之ヲ設置ス

第二條 土地ノ狀況ニ依リ官以外ノ者ノ費用ヲ以テ航路標識ヲ設置セムトスルトキハ所轄支廳長ヲ經由シテ南洋廳長官ノ許可ヲ受クヘシ其位置又ハ性質ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

南洋廳長官ニ於テ前項ノ航路標識不完全ニシテ危害アリト認メタルトキハ之ヲ變更又ハ撤去セシムルコトアルヘシ

第三條 前條ノ航路標識ヲ停止又ハ廢止セムトスルトキハ其期日ヲ定メ所轄支廳長ヲ經由シテ南洋廳長官ニ届出ツヘシ

第四條 航路標識ヲ損壞シ若ハ移轉シ又ハ其性質ヲ變更シ又ハ之ヲ蔽遮スヘキ所爲ヲ爲シ又ハ南洋廳長官ノ指定シタル區域内ニ於テ航路標識ノ燈光ト誤認シ易キ所爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五條 航路標識ニ船筏其ノ他ノ物ヲ繋キ若ハ衝突セシメ又ハ攀躋シ若ハ之ヲ汚穢シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

逓信省訓令 明治二十一年十月  
第十一號

第一條 航路標識條例第二條第一項ニ依リ地方税又ハ區町村費ヲ以テ航路標識ヲ設置セムトシ地方長官ニ於テ逓信大臣ノ許可ヲ請フトキハ左ノ書類ヲ具フヘシ

一 航路標識設置位置及其近傍實測地圖

二 航路標識圖面及其構造方法並費用調書

三 一箇年間入港スヘキ日本形船西洋形船員數及其石數噸數並其最大船舶石數又ハ噸數概算調書  
其位置ヲ變更セムトスルトキハ第一項ノ書類又ハ其性質ヲ變更セムトスルトキハ第二項ノ書類ヲ具シ逓信大臣ニ經伺ノ上之ヲ變更スヘシ

第二條 前條航路標識ヲ設置シ若クハ其位置又ハ性質ヲ變更シ或ハ之ヲ停止若クハ廢止スルトキハ當省ヨリ告示スヘキヲ以テ地方長官ハ豫メ其實施期限ヲ逓信大臣ニ報告スヘシ

第三條 船舶繫留等ノ爲メ棧橋又ハ埠頭ニ設置スル標識ハ航路標識ト誤認シ易キ處アルヲ以テ其設置變更等ハ都テ地方長官ニ於テ逓信大臣ニ經伺ノ上若シ航路ニ障礙アリト認ムルトキハ變更又ハ撤去ヲ命スベキ趣旨ヲ以テ之ヲ許可スヘシ

北海道廳府縣及區町村立航路標識看守條規 明治二十二年三月  
逓信省令第三號



- 第一條 地方税又ハ區町村費ヲ以テ航路標識ヲ建設シタルトキハ看守員ヲ定メ其標識ニ關スル諸般ノ業務ヲ掌理セシムヘシ 但シ夜標ニハ二名以上ノ看守ヲ置キ内一名ヲ看守長ト爲スヘシ
- 第二條 看守長ハ遞信省燈臺局又ハ其燈臺ニ於テ看守ノ業務ヲ習熟シタルモノニ限ル
- 第三條 航路標識看守上遞信省燈臺局ノ定ムル所ノ看守教則及同局又ハ同局派遣ノ視察官吏ヨリ教示スル所ノ事項ハ之ヲ遵守スヘシ
- 第四條 燈油其他點燈用ノ諸物品ハ遞信省燈臺局ノ認可ヲ經タルモノニ非サレハ使用スルヲ得ス

朝鮮總督府告示 大正六年十一月五日  
第二百五十二號

鴨綠江航路ヲ航行スル船舶ハ左記各項ニ注意スヘシ

- 一 本航路ハ大潮或ハ増水ノ場合殊ニ夏季出水ノ際ニハ水深ノ變化及沙堆ノ伸縮又ハ變位等極リナキコト
- 二 本航路ノ水道ハ平時ニ於テモ屢水路ニ變化ヲ生スルコトアリ且最低潮時ノ水深〇・六米(二呎)以下ノ箇所アルヲ以テ半潮時以上ニ非サレハ航行甚タ困難ナルコト
- 三 龍岩浦以北ニ溯航セムトスル船舶ハ西水道ヨリスルヲ可トスルコト
- 三 本航路ヲ航行セムトスル船舶ノ喫水ハ左ニ掲クルモノヲ超エサルヲ可トスルコト
- (一) 安東縣ニ至ル間 高潮時ニ於テ 三・〇米 (十 呎)

(二) 龍岩浦ニ至ル間 同 三・九米 (十三 呎)

(三) 第三號浮標ヨリ多 獅島錨地ニ至ル間 低潮時ニ於テ 四・五米 (十五 呎)

(四) 大東溝ニ至ル間 高潮時ニ於テ 四・八米 (十六 呎)

四 本航路ニ於ケル龍岩浦錨地ハ水路變遷ノ結果水深ヲ減シ船舶ノ碇泊不可能ナルヲ以テ此ノ附近ニ於テ碇泊セムトスルモノハ斗流浦ノ西側附近及黃草坪ノ東側以南間ニ於テ深所ヲ選ミ他船ノ航行ヲ妨ケサル様碇泊スルコト

五 本航路ノ浮標ハ毎年結氷中一時之ヲ撤去シ解氷後ニ至リ漸次之ヲ碇置スルモノナルコト

六 本航路ノ浮標ハ増水ノ爲一時之ヲ撤去シタル場合ハ減水後ニ至リ之ヲ碇置スルモノナルコト

七 本航路ノ浮標ハ沙堆ノ位置及水深ノ變更ニ伴ヒ隨時之ヲ増減變更スル場合アルコト

八 本航路ノ標識ハ流勢、風雨、潮浪其他ノ事故ニ依リ流失、流轉、倒壞其ノ他異狀アリタル場合ハ發見後之ヲ再置スル迄多少ノ日時ヲ要スルコト

九 本航路ノ航路標識ニ付テハ著シク位置、構造等ノ變更シタルモノニ限リ之ヲ告示スルモノナルコト

十 本航路ニ於テ水路ノ嚮導ヲ受ケムトスル船舶ハ其ノ關係者又ハ船長ヨリ電報其他ノ方法ヲ以テ嚮導者ノ乘込ヲ要スル場所、日時、嚮導區域及出入別等ヲ其二日前迄ニ在龍岩浦鴨綠江水先人事務所ニ申込ミ朝鮮水先令ニ依ル水先人ヲ得ルノ便宜アルコト



朝鮮總督府告示 大正二年十二月十七日 第四百一十七號

朝鮮西岸大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路ヲ航行スル船舶ハ左記各項ニ注意スヘシ

一 大同江航路ニ於ケル燈臺ハ毎年結氷中一時點燈ヲ停止シ解氷後ニ至リ點燈ヲ開始ス

一 大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路ノ挂燈浮標並浮標ハ毎年結氷中一時之ヲ撤去シ解氷後ニ至リ之ヲ碇置ス

一 大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路標識ハ之ヲ新設若ハ撤廢シ又ハ燈質若ハ著シク位置等ノ變更シタル場合ヲ除クノ外之カ告示ヲ爲サス

無線方位測定通信規則 昭和二年五月七日 逓信省令第十四號

第一章 總 則

第一條 無線電信ニヨル方位測定ニ關スル通信ハ本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第二條 無線電信ニ依ル方位測定ニ關スル通信ヲ分チテ左ノ二種トス

一 無線羅針局業務 方位測定機ノ裝置ヲ有スル陸上無線電信以下無線羅針局ト稱スト船舶無線電信トノ間ノ方位測定ニ關スル通信

二 無線標識局業務 方位測定機ノ裝置ヲ有スル船舶無線電信ト無線標識符號ヲ送信スル目的ヲ以テ施設シタル陸上無線電信以下無線標識局ト稱ス船舶ト交信ヲ爲ス目的ヲ以テ施設シタル陸上無線電信ニシテ無線羅針局若ハ

無線標識局ニ非ラサルモノ以下陸上無線電信ト稱ス又ハ船舶無線電信トノ間ノ方位測定ニ關スル通信

第三條 方位測定業務ニ使用スヘキ電波長ハ左ノ區別ニ依ルヘシ

一 無線羅針局業務

船舶無線電信ヨリ無線 可聽電波六百「メートル」又ハ持續電波二千四百「メートル」ノ内別ニ告示スル當

羅針局ニ對スル呼出 該無線羅針局ノ聽守電波長

可聽電波ヲ使 八百「メートル」(八百「メートル」電波長ノ裝置ヲ有セサル船舶無線電信ニ其ノ他用スルトキ 限リ六百「メートル」電波長ヲ使用スルコトヲ得)

持續電波ヲ使用スルトキ二千四百「メートル」

二 無線標識局業務

無線標識局ヨリ標識符 可聽又ハ持續電波一千「メートル」

號ノ送信

陸上無線電信ニ在リテハ方位測定ニ供スル符號ノ送信ノ請求ヲ受ケタル時分ニ於ケル現用電波長、船舶無線電信ニ在リテハ可聽電波六百「メートル」又ハ持續電波二千四百「メートル」

第四條 無線羅針局ニ關スル左ノ事項ハ別ニ之ヲ告示ス



- 一 名稱
  - 二 呼出符號
  - 三 位置(經緯度ヲ以テ表ハス)
  - 四 船舶無線電信ト交信ヲ爲ス無線羅針局 以下主無線羅針局ト稱スナルトキハ發射電波ノ性質及送信電波長
  - 五 船舶無線電信ト交信ヲ爲ササル無線羅針局 以下副無線羅針局ト稱スナルトキハ副無線羅針局ニ於ケル方位測定ニ關シ船舶無線電信ト交信ヲ爲ス主無線羅針局ノ名稱
  - 六 通常方位測定區域(海上ニ於ル區域ヲ距離ヲ以テ表ハス)
  - 七 聽守電波長
  - 八 其ノ他必要ナル事項
- 第五條 無線標識局ニ關スル左ノ事項ハ別ニ之ヲ告示ス
- 一 名稱
  - 二 呼出符號
  - 三 位置(經緯度ヲ以テ表ハス)
  - 四 發射電波ノ性質及送信電波長
  - 五 通常通達距離

- 六 聽守裝置ヲ有スルトキハ聽守電波長
  - 七 其ノ他必要ナル事項
- 第六條 本令ニ規定ナキ事項ハ一般ノ無線電信通信方法ニ關スル規定ニ依ルヘシ
- 第二章 無線羅針局業務
- 第七條 船舶無線電信ニ於テ無線羅針局ニ對シ方位測定ノ請求ヲナサムトスルトキハ該無線羅針局ノ通常方位測定區域内ニ入リタルトキ之ヲ爲スヘシ
- 第八條 船舶無線電信ニ於テ無線羅針局ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ該無線羅針局ヲ呼出シ其ノ呼出ノ符號ニ引續キ左ノ事項ニ該當スル略符號ヲ送信スヘシ此ノ場合ニ於テ無線羅針局ニ對シ八百「メートル」以外ノ電波長ニ依リ方位測定ニ供スル符號ヲ送信セムトスルトキハ該略符號ノ次ニ使用電波長ヲ表ハス數字「六〇〇」又ハ「一一〇〇」ヲ送信スヘシ
- 事 項
- 略 符 號
- Q T E ?
- 當船ノ眞方位如何
- 第九條 船舶無線電信ニ於テ副無線羅針局ニ對シ方位測定ノ請求ヲナサムトスルトキハ其ノ主無線羅針局ヲ呼出シ之ニ前條ノ方法ニ依リ必要ノ事項ヲ送信スヘシ此ノ場合ニ於テハ略符號「Q T E ?」ノ次ニ副無線羅針局ノ呼出符號ヲ送信スヘシ



第十條 主無線羅針局ニ於テ副無線羅針局ニ對シ方位測定ノ準備ヲ爲スヘキ旨ノ通知ヲ爲サムトスルトキハ電信電話ノ連絡アル場合ハ之ニ依リ其ノ連絡ナキ場合ハ無線電信無線電話ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第十一條 無線羅針局ニ於テ船舶無線電信ヨリ方位測定ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ測定ノ準備ヲ完了シタルトキハ該船舶無線電信ニ對シ方位測定ニ供スル符號ヲ送信スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第十二條 副無線羅針局ニ於テ前條ノ通知ヲ爲サムトスルトキハ主無線羅針局ヲ介シテ之ヲ爲スヘシ

第十三條 前二條ノ通知ハ可送符號 ———— ヲ送信シテ之ヲ爲スヘシ

第十四條 船舶無線電信ニ於テ無線羅針局ニ對シ方位測定ニ供スル符號ノ送信ヲ爲サムトスルトキハ所定ノ電波長ニ依リ該無線羅針局ニ於ケル方位測定上必要ナル最少限度ノ電力ヲ以テ自己ノ呼出符號ヲ其ノ長點ヲ稍長クシテ五十秒間反覆送信スヘシ

第十五條 無線羅針局ニ於テ方位測定ノ結果ヲ船舶無線電信ニ通知セムトスルトキハ左ノ事項ニ該當スル略符號ヲ送信シ之ニ引續キ「〇〇〇」ヨリ「三五九」ニ至ル三位ノ數字ヲ以テ表ハス自局ヨリノ眞方位及自局所在地ノ地方標準時ニ依リ「〇〇〇〇」（午前〇時一分）ヨリ「二四〇〇」（午後十二時）ニ至ル四位ノ數字ヲ以テ表ハス方位測定時刻ヲ送信スヘシ

事 項 略符號  
Q T E

貴船ノ方位ハ無線羅針局ヨリ、、、、度ナリ

第十六條 主無線羅針局ニ於テ副無線羅針局ニ於ル方位測定ノ結果ノミヲ又ハ之ヲ自局ニ於ル方位測定ノ結果ト取纏メ船舶無線電信ニ通知セムトスルトキハ前條ノ方法ニヨルノ外方位ヲ表ハス數字ノ前ニ測定シタル無線羅針局ノ呼出符號ヲ送信スヘシ

第十七條 船舶無線電信ニ於テ無線羅針局ヨリ方位測定ノ結果ノ通知ヲ受ケタルトキハ照校ノ爲該無線羅針局ニ對シ方位及方位測定時刻ヲ表ハス數字ヲ受信シタル順序ニヨリ送信スヘシ

第十八條 無線羅針局ニ於テ前條ノ送信ニ誤ナキコトヲ認メタル時ハ直接又ハ主無線羅針局ヲ介シテ解信符號 ———— 又ハ ———— ヲ送信スヘシ

第三章 無線標識局業務

第十九條 方位測定機ノ裝置ヲ有スル船舶無線電信ニ於テ聴取裝置ヲ有スル無線標識局ニ對シ無線標識符號ノ送信ヲ請求セントスルトキハ該無線標識局ノ通常通達距離内ニ入りタルトキ之ヲ呼出シ其ノ呼出ノ符號ニ引續キ左ノ事項ニ該當スル略符號ヲ送信スヘシ

事 項 略符號  
GVBON (Give beaconノ略)

第二十條 無線標識局ニ於テ船舶無線電信ヨリノ請求ニヨリ無線標識符號ノ送信ヲ爲サムトスルトキハ五十秒間左ノ符號ヲ其ノ長點ヲ稍長クシテ送信スヘシ



- 一 自己ノ呼出符號 二回
  - 二 自己ノ呼出符號ノ連續
  - 三 自己ノ呼出符號 一回
- 第二十一條 無線標識局ニ於テ濃霧等ニ際シ其ノ附近ニアル船舶無線電信ニ對シ繼續シテ無線標識符號ノ送信ヲ爲サムトスルトキハ二分間毎ニ一回宛前條ノ送信ヲ反覆スヘシ
- 第二十二條 方位測定機ノ裝置ヲ有スル船舶無線電信ニ於テ陸上無線電信又ハ船舶無線電信ニ對シ無線標識符號ノ送信ヲ請求セムトスルトキハ第十九條ノ方法ニ準シ其ノ請求ヲ爲スヘシ
- 第二十三條 前條ノ請求ヲ受ケタル陸上無線電信又ハ船舶無線電信ニ於テ無線標識符號ノ送信ヲナサムトスルトキハ自己ノ呼出符號ヲ其ノ長點ヲ稍長クシテ五十秒間反覆送信スヘシ但シ船舶無線電信ニ在リテハ呼出符號ヲ連續送信シタル後ニ自己ノ位置針路及速力ヲ送信スヘシ
- 第二十四條 船舶無線電信ニ於テ濃霧等ニ際シ衝突ヲ豫防スル目的ヲ以テ其ノ附近ニアル船舶無線電信ニ對シ無線標識符號ノ送信ヲ爲サムトスルトキハ自己ノ呼出符號位置針路速力其ノ他必要ト認ムル事項ヲ其ノ前後ニ BGN (Beacon) ノ略符號ヲ附シ且各送信符號ノ長點ヲ稍長クシテ送信スヘシ
- 第二十五條 前二條ノ無線標識符號ノ送信ハ電力ヲ通達距離二十「キロメートル」以下ニ低減スヘシ但シ陸上無線電信ニ於テ特ニ必要アリト認ムル場合ハ電力ヲ通達距離四百「キロメートル」迄増加スルコトヲ得

附 則

本令ハ布公ノ日ヨリ之ヲ施行ス

- 無線電信ニ依ル方位測定ニ關スル通信取扱方ノ件 昭和二年五月九日電業第七四八號
- 船舶局及海岸局ニ於テ船舶航行ノ安全上無線電信ニ依ル方位測定ニ關スル通信ヲ爲スノ必要アリト認メタル場合ハ昭和二年五月七日遞信省令第十四號無線方位測定通信規則及無線電報規則第七條ニ依リ無料ニテ此ヲ取扱相成度依命

□ 無線電信ニ依ル航行警報放送 大正十五年一月二十日遞信省告示第一一七號

注意 ( ) 内ニ臺灣總督府告示 昭和二年一月一號中相違ノ點ヲ照記ス

大正十五年二月一日(昭和二年)ヨリ東京無線電信局(基隆無線電信局)ニ於テ左記ニヨリ水路ノ告示中緊急ヲ要スル事項及海上船舶ニ對スル航行上ノ危險警戒ニ必要ナル事項ヲ無線電信ニ依リ放送ス

一、放送時刻 午後九時五分ヨリ同十五分迄ノ間(午後四時ノ天氣豫報ニ引續キ放送ス)

一、放送電波長 持續電波七千七百「メートル」(持續電波二千四百「メートル」)

三、放送方法

左ノ事項ヲ列記ノ順序ニ從ヒ放送ス

(イ) 海上船舶注意符號

J N T M 三 回



自局名前置符號

東京無線電信局呼出符號 J O (基隆無線電信局呼出符號 J F K)

通知事項 (航路標識ノ設置改廢、航路ノ變化、暗礁、海上)

遺棄物漂流物、難破船等ノ發見ニ關スル事項等

通信結了符號

(ホ)

(ニ)

(ハ)

(ロ)

一回  
一回  
一回

無線電報取扱規程

明治四十一年四月九日

大正十四年九月二十五日

抜抄

第七十二條

船舶航行上ノ危険警戒ニ必要ナル事項ノ通報ヲ受ケ又ハ其ノ危険警戒ニ必要ナル事實ヲ認識シタルトキハ通報ノ出所及日時ヲ明カニシテ自局通信圈ニ在ル各艦船ヘ之ヲ放送スヘシ

前項ノ放送ハ航行警報符號ヲ適宜反覆シ之ニ引續キ必要ナル事項、自局名前置符號及自局呼出符號ヲ送信シ更ニ各十分間ノ間隔ヲ以テ其ノ送信ヲ二回反覆シテ之ヲ行フヘシ

(參照) 航行警報略符號 | | | (同上規程第四五條)

船舶通航信 號 規 定 明治四十二年七月十七日 逓信省告示第六百七十三號

一 船舶通航信號ハ信號所ノ附近ニ於ケル船舶ノ動靜ニ關シ之ヲ爲ス但シ各信號所ニ付テ特ニ定ムル場合、縦帆ノミヲ裝置スル帆船力群走セサル場合及檣樞ヲ以テ運轉スル船ニ關スル場合ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

二 船舶通航信號ハ左ノ三種ニ分チ晝間ニ在テハ黒色ノ船舶通航信號塔ニ白色ノ記號ヲ表示シ夜間ニ在テハ該

塔ニ燈ヲ掲ケテ之ヲ爲ス (附圖參照)

第一種 晝間ニ在テハ前塔ニ圓形ヲ表示シ夜間ニ在テハ該塔ニ不動白色燈ヲ掲クルモノ

第二種 晝間ニ在テハ中央塔ニ三角形ヲ表示シ夜間ニ在テハ該塔ニ明暗紅色燈ヲ掲クルモノ

第三種 晝間ニ在テハ後燈ニ方形ヲ表示シ夜間ニ在テハ該塔ニ不動紅色燈ヲ掲クルモノ

前塔ト稱スルハ信號所見張所ノ上部ニ在ルモノ、中央塔ト稱スルハ前塔ノ後方ニ在ルモノ、後塔ト稱スルハ最後ニ在ルモノヲ謂フ

三 潮流信號ハ左ノ四種ニ分チ晝間ニ在テハ白色柱ノ頂ニ於テ一端ニ紅色圓形板、他端ニ黒色矩形板ヲ有スル

白色桿ノ位置ヲ轉換シ夜間ニ在テハ白色ノ潮流信號塔ニ燈ヲ掲ケテ之ヲ爲ス (附圖參照)

第一種 晝間ニ在テハ矩形板ヲ上端トシテ桿カ約三十度ニ傾斜シ夜間ニ在テハ白色不等分明暗燈ヲ掲クルモノ

第二種 晝間ニ在テハ矩形板ヲ上端トシテ桿カ約七十度ニ傾斜シ夜間ニ在テハ白色等分明暗燈ヲ掲クルモノ

第三種 晝間ニ在テハ圓形板ヲ上端トシテ桿カ約三十度ニ傾斜シ夜間ニ在テハ紅白不等分互光燈ヲ掲クルモノ

第四種 晝間ニ在テハ圓形板ヲ上端トシテ桿カ約七十度ニ傾斜シ夜間ニ在テハ紅白等分互光燈ヲ掲クルモノ



モノ

四 潮流信號ハ同方向ノ潮流カ流レ始メテヨリ流レ止ムマテノ間ニ於テ最初ノ約三分ノ一ニ相當スル期間ヲ初  
 期次ノ約三分ノ一ニ相當スル期間ヲ中央期最後ノ約三分ノ一ニ相當スル期間ヲ末期トシテ之ヲ爲ス  
 信號機ノ故障其ノ他ノ事由ニ依リ信號ヲ爲スコトヲ得サルトキハ左ニ定ムル所ニ從ヒ信號ヲ爲ス

船舶通航信號ヲ爲スコトヲ得サルトキ

晝間 Wノ信號旗ヲ旗竿ニ掲ク

夜間 紅燈一箇ヲ前後ノ各信號塔ニ掲ク

潮流信號ヲ爲スコトヲ得サルトキ

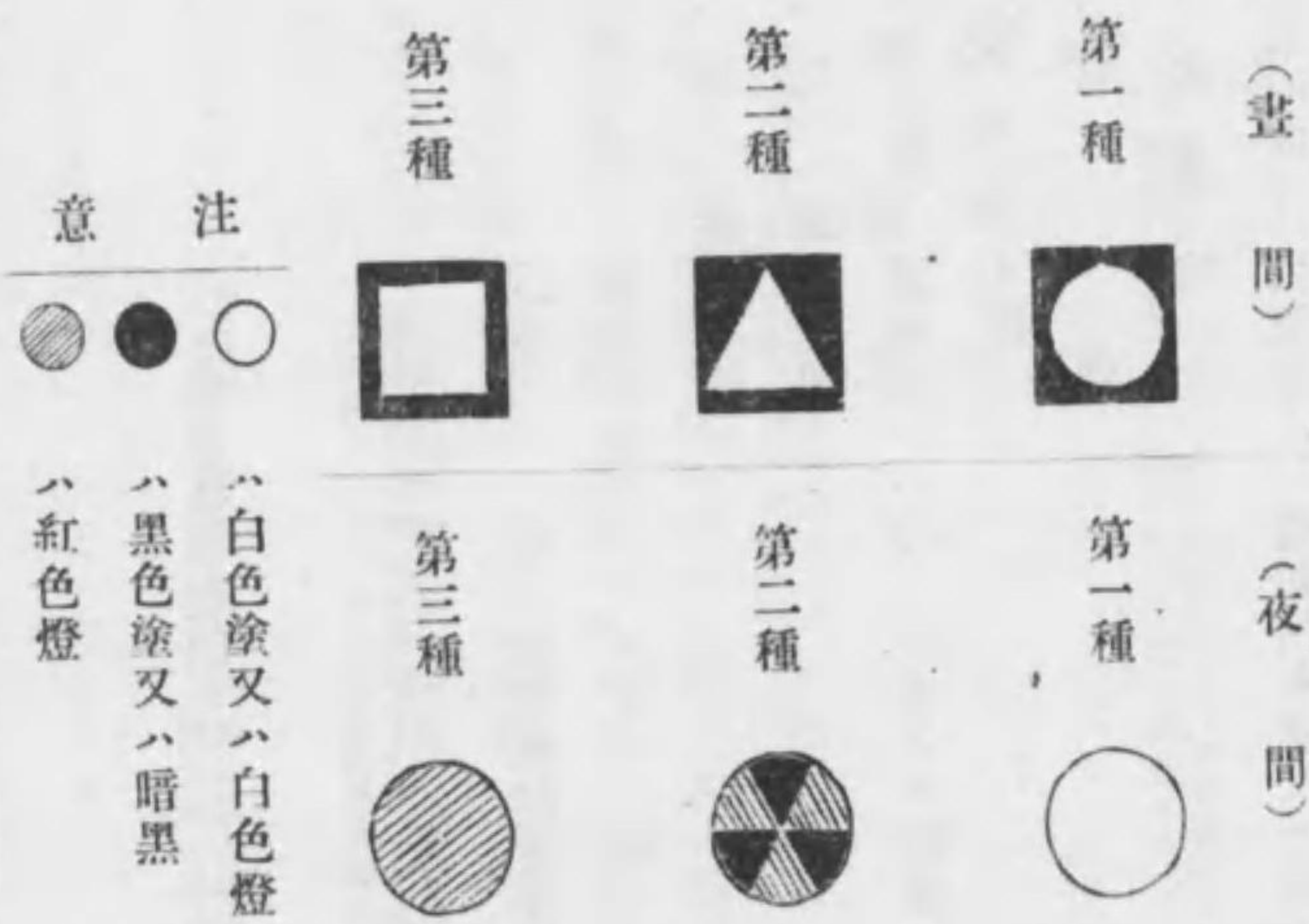
晝間 圓形板ヲ上端トシテ桿ヲ直立ス

夜間 綠燈一箇ヲ潮流信號塔ニ掲ク

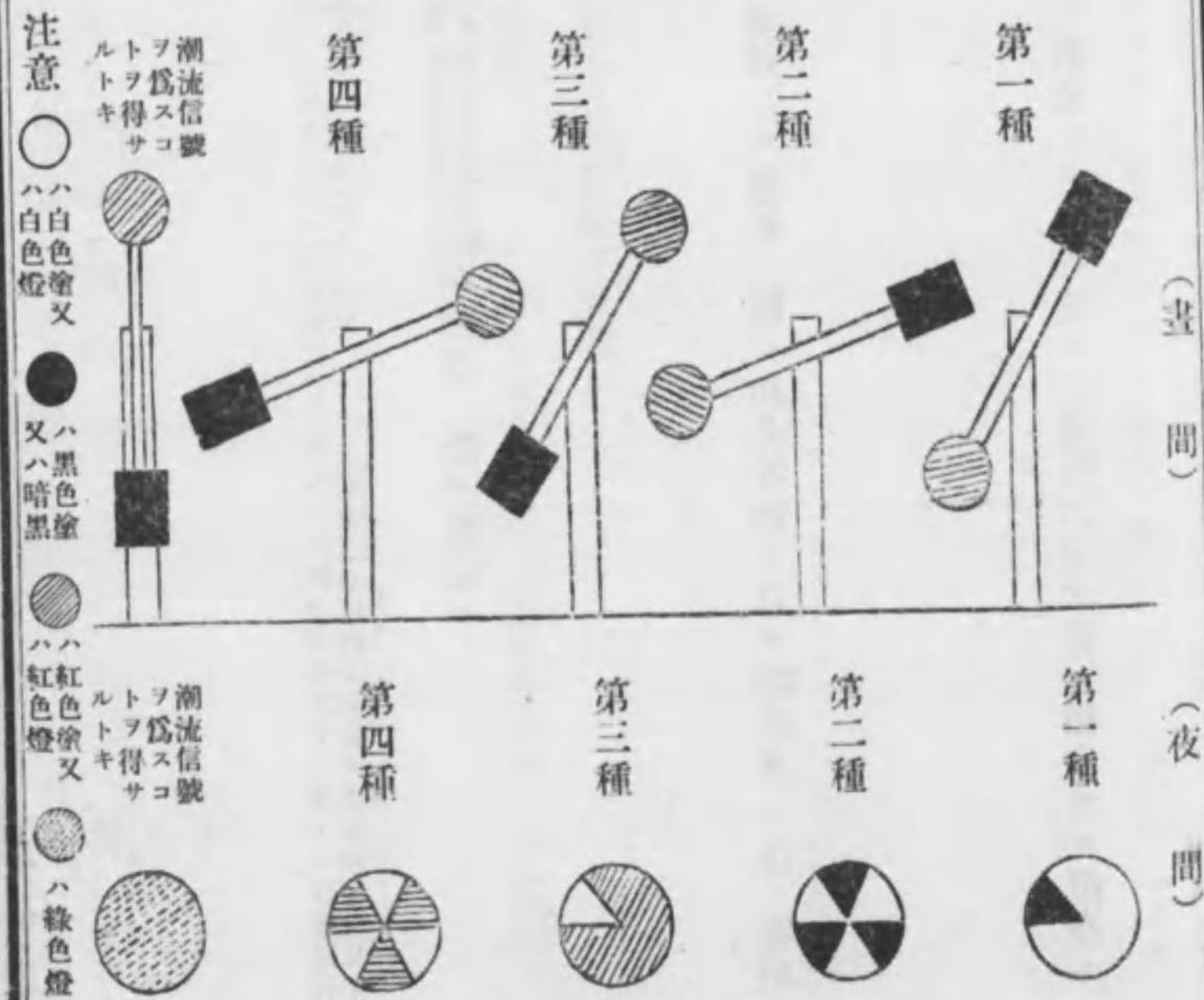
六 潮流信號ヲ爲ササル信號所ハ夜間信號所ノ位置ヲ示ス爲メ其ノ中央塔ニ明暗白色燈ヲ掲ク但シ第二項ノ船  
 舶通航信號ヲ爲ス場合及前項ニ依リ燈ヲ掲クル場合ニ於テハ此ノ限リニ在ラス

七 航路ニ異變アルトキ、航行危険ノ虞アルトキ其ノ他船舶ノ航行ニ關シ必要アルトキハ信號所ハ晝間ニ限リ  
 萬國船舶信號法ニ依リ信號ヲナスコトアルヘシ

### 船舶通航信號



### 潮流信號





船舶通報規則 明治四十年九月二十六日 逓信省令第四十四號發布

明治四十三年十月六日逓信省令第九十二號明治四十四年十一月十四日逓信省令第四十三號大正元年十二月十一日逓信省令第二十四號及大正四年三月二十九日逓信省令第二十二號大正九年五月二十五日逓信省令第四十五號大正十四年九月十二日逓信省令第六〇號ヲ以テ本令中改正

注意〔内ニ朝鮮船舶通報規則大正四年三月二十三日中相違ノ點ヲ照記ス 朝鮮總督府令第二十三號〕

第一條〔第二條〕 船舶通報ヲ分チテ左ノ二種トス

一、通過報

二、信號報

第二條〔第三條〕 通過報トハ特ニ指定スル燈臺ノ沿海ヲ通過スル船舶ニ關シ和文電報ヲ以テ請求者ニ左ノ事項ヲ通知スルモノヲ謂フ

一、船名

二、通過時分

第三條〔第四條〕 信號報トハ船舶所有者又ハ其ノ代理人ト船長トノ間ニ於ケル通信ニシテ特ニ指定スル燈臺ニ於テ其ノ沿海ヲ通過スル船舶ト信號ニ依リ送受スルモノヲ謂フ

第四條〔第五條〕 通過報ノ取扱ヲ望ム者ハ左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ其ノ電報ヲ配達スヘキ電信局所ニ差

出スヘシ

一、船名必要ナルトキハ信號符字(航路名、豫定通過日時、出港、入港)又ハ航路名方向等ヲ添記スヘシ

二、國籍

三、船舶所有者

四、燈臺名

五、請求者若シ請求者カ受信者ニ非サルトキハ併セテ受信者ノ住所氏名

臨時ニ通過報ノ取扱ヲ望ム者ハ前項各號ノ事項ノ外尙豫定通過日時ヲ記載スヘシ

第五條〔第六條〕 通過報ノ取扱ヲ望ム者ハ〔船舶數及請求度數ニ拘ラス〕登記料トシテ一會社年度毎ニ金貳圓ヲ

前條ノ電信局所ニ納付スヘシ但シ臨時ニ其取扱ヲ望ム者ハ此限リニ在ラス

前項ノ登記料ニハ毎年度分ヲ其前年度ノ末日十五日前迄ニ納付スヘシ但シ初年度分ハ請求書差出ノ際之ヲ納

付スヘシ

第六條〔第七條〕 通過報ノ料金左ノ如シ

一、登記料ヲ納付シタル者ニ對シテハ	各一通毎ニ
	朝鮮臺内
	鮮太灣地
	相相相相
	互互互互
	間間間間
	.....
	金貳拾錢







報ヲ配達スヘキ電信局所ニ差出スヘシ

一、船名必要ナルトキハ信號符号(航路名、方向等)又ハ航路名ヲ添記スヘシ

二、國籍

三、船舶所有者名

四、燈臺名

五、請求者ノ住所氏名

第十條〔第十一條〕 信號報ノ取扱ヲ望ム者ハ〔船舶數及請求度數ニ拘ラス〕登記料トシテ一會計年度毎ニ金貳圓ヲ前條ノ電信局所ニ納付スヘシ

前項ノ登記料ハ毎年度分ヲ其前年度ノ末日十五日前迄ニ納付スヘシ但シ初年度分ハ請求書差出ノ際之ヲ納付スヘシ

第十一條〔第十二條〕 信號報ノ料金左ノ如シ

信號料 一通ニ付 金 壹 圓 電報料又ハ郵便料實費

船舶ヨリ發スル信號報ノ料金ハ之ヲ受信者ヨリ徵收ス

第十二條〔第十三條〕 船舶所有者又ハ其ノ代理人信號報ヲ發セムトスルトキハ和文電報書法ニ從ヒ相當事項ヲ賴信紙ニ記載シ之ヲ第九條〔第十條〕ノ電信局所ニ差出スヘシ但シ之ニ關スル郵便切手ハ賴信紙ニ貼付スヘカ

ラス

前項ノ場合ニ於テ郵便ニ依リ燈臺ニ送達ヲ望ムトキハ同時ニ其ノ旨ヲ申出ツヘシ此場合ニ於テハ適宜ノ用紙ニ記載スルコトヲ得

第十三條〔第十四條〕 電信局所ニ於テ前條ノ信號報ヲ受ケタルトキハ指定ノ方法ニ依リ之ヲ燈臺ニ傳送シ燈臺ニ於テ之ヲ船舶ニ通達ス

第十四條〔第十五條〕 船舶ニ於テ信號報ヲ發セムトスルトキハ其旨ヲ燈臺ニ信號スヘシ但シ信號報ノ受信者ハ第十條〔第十一條〕ノ登記料ヲ納付シタル者ニ限ル

第十五條〔第十六條〕 燈臺ニ於テ前條ノ信號報ヲ受ケタルトキハ和文電報ヲ以テ之ヲ第九條〔第十條〕ノ電信局所ニ傳送シ電信局所ハ之ヲ受信者ニ配達ス

第十六條〔第十七條〕 燈臺ニ於テ信號報ヲ船舶ニ通達スルハ其ノ到達ノ日ヨリ三十日以内ニ限ル

第十七條〔第十八條〕 船舶ニ通達シ能ハサル信號報ノ料金中信號料ハ納付人ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第十八條〔第十九條〕 燈臺ト船舶トノ間ニ於ケル信號ハ晝間ニ限り之ヲ行ヒ其方法ハ萬國船舶信號書ノ定ムル所ニ依ル但シ船舶所有者又ハ其ノ代理人ノ請求ニ依リ燈臺ニ於テ夜間通過ノ信號ヲ受クルコトアルヘシ

第十九條〔第二十條〕 船舶通報ニ關係ヲ有スル海上ノ船舶ハ特ニ指定シタル燈臺ニ接近シタルトキハ國旗及信號符字ヲ掲クヘシ



前條但書ニ依リ夜間通過ノ信號ヲ爲サムトスルトキハ船舶所有者又ハ其ノ代理人ハ特定信號ヲ定メ豫メ燈臺局ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

第二十條〔第二十一條〕 本令中料金ノ徵收又ハ還付ニ關シ明文ナキ事項ハ凡テ明治三十三年九月逓信省令第四十六號〔明治四十三年十月朝鮮總督府令第三十八號〕電報規則ノ規定ヲ準用ス

第二十一條〔第二十二條〕 船舶通報ノ受信者住所ニ異動ヲ生シタルトキハ請求書ヲ差出シタル電信局所ニ其旨ヲ届出ツヘシ

受信者住所ノ異動ニ依リ配達電信局所ヲ異ニスルニ至リタルトキハ其船舶通報取扱ノ請求ハ消滅シタルモノト見做ス

第二十二條〔第一條〕 船舶通報ハ内地小笠原島ヲ除ク相互間臺灣相互間、樺太相互間、朝鮮相互間並内地小笠原島ヲ除ク臺灣樺太及朝鮮相互間ニ發受スルモノニ限ル

第二十三條〔第二十三條〕 燈臺以外ノ場所ニ於テ船舶通報ノ取扱ヲ爲ストキハ本令ヲ準用ス

第二十四條〔第二十四條〕 本令ハ明治四十年十月一日〔大正四年四月一日〕ヨリ之ヲ施行ス

樺太

3		2		1		燈臺名稱	位置	種類
岩	丈	泊	大	南	泊			
號信霧	標燈	竿	燈	竿	燈	大泊榮町	北東	位
		北西高地	大泊ノ	北方山頂	停車場		緯經	地
		46° 142'	39' 45'	46° 142'	38' 46'		緯經	北東
		月四年九十三治明		月一十年二正大			月年點初	
		木	白	木	燈	燈	造	構
		造	色	造	不	不	燈	等
		電	不動	電	動	紅	質	級
		燈	白光	燈	光	光	弧	明
		造	(北三〇度 西ヨリ一 二七度南 四五度東)	度	全		上礎基	燈高(米)
		5.4		5.4			上面水	平均
		60.9		71.2			數光燭	
		3		1/10			(測)離距達光	
		21		9			記	事
		建築中		●大泊町立		看守員ヲ置カス		

燈臺 樺太沿岸















燈臺 北海道南岸

36		35		34		33		32	
岬支登葛		港館函		港館函		岬首沙		岬山惠	
號信霧	臺燈	標浮燈挂	臺燈	標浮燈挂	臺燈	標浮燈挂	臺燈	標浮燈挂	臺燈
ノ西側	函館港口	函館港	函館港	函館港	函館港	函館港	函館港	函館港	函館港
41° 140°	45' 36'		41° 47' 140° 42'		41° 43' 140° 58'		41° 49' 141° 11'		
月二十年八十治明	月二年二和昭	月二年八正大	月一十年六廿治明	月一十年三廿治明					
鐵木造	八角形	鐵槽造	圓筒形	紅黒横線	圓筒形	紅黒横線	圓筒形	六角形	白
電秒	明暗三秒	瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン
燈	明暗三秒	瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン
八度東)迄	二二一度	度	全	全	全	全	二七九度	一六〇度	度
8.2			10.9		6.9		15.1		
42.1		3.6	13.3		46.3		44.6		
40		1/10弱	1/10		20		4		
18		6	12		18.5		18.5		
リ頂上マテ高サ八米二	鐵鐘 每一分ニ六回打鳴ス	鐵鐘 每一分ニ六回打鳴ス	鐵鐘 每一分ニ六回打鳴ス	鐵鐘 每一分ニ六回打鳴ス	鐵鐘 每一分ニ六回打鳴ス	鐵鐘 每一分ニ六回打鳴ス	鐵鐘 每一分ニ六回打鳴ス	鐵鐘 每一分ニ六回打鳴ス	鐵鐘 每一分ニ六回打鳴ス

燈臺 北海道南岸

31		30		39		28	
港蘭室		設假港蘭室		根大蘭		室	
號信霧	臺燈	標浮燈挂	臺燈	標浮燈挂	臺燈	標浮燈挂	臺燈
頭南防波堤	室蘭港	線先端	北防波堤	大根	室蘭港口	大黒島	室蘭港口
42° 140°	21' 57'				42° 140°	21' 55'	
月五年三十正大	月二年十正大	月五年八正大	月一十年四廿治明				
鐵造	三脚形	鐵造	圓筒形	圓筒形	圓筒形	圓筒形	圓筒形
光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス
セナリン瓦斯	セナリン瓦斯	セナリン瓦斯	セナリン瓦斯	セナリン瓦斯	セナリン瓦斯	セナリン瓦斯	セナリン瓦斯
度	全	度	全	度	全	度	全
10.0		3.7		4.5		9.1	
1/10弱		1/10		1/10		1/4	
8		8.5		9		18.5	
看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス

記

事



燈臺 北海道西岸

北海道西岸

43		42		41		燈臺名稱	位置
島小前松	山福	岬神白	號信霧	臺燈	號信霧		
津輕海峡 津輕海峡 津輕海峡	福山港	白神岬	白神岬	白神岬	白神岬	津輕海峡	津輕海峡
41° 22' 49"	41° 25' 5"	41° 24' 12"	41° 24' 12"	41° 24' 12"	41° 24' 12"	41° 24' 12"	41° 24' 12"
139° 49'	140° 5'	140° 12'	140° 12'	140° 12'	140° 12'	140° 12'	140° 12'
月十年二十正大	月九年二十二治明	月九年一十二治明	月九年一十二治明	月九年一十二治明	月九年一十二治明	月九年一十二治明	月九年一十二治明
混濁土造	混濁土造	鐵造	鐵造	鐵造	鐵造	鐵造	鐵造
八角形	四角形	六角形	六角形	六角形	六角形	六角形	六角形
第三等	第三等	第二等	第二等	第二等	第二等	第二等	第二等
連閃白光	明暗白光	閃光	閃光	閃光	閃光	閃光	閃光
每十八秒一閃	明三秒暗三秒	每四十秒一閃	每四十秒一閃	每四十秒一閃	每四十秒一閃	每四十秒一閃	每四十秒一閃
三閃光ヲ發ス	アセチリン	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス
二五度(北)	二五度(北)	二五度(北)	二五度(北)	二五度(北)	二五度(北)	二五度(北)	二五度(北)
七度(北)	七度(北)	七度(北)	七度(北)	七度(北)	七度(北)	七度(北)	七度(北)
三度(東)	三度(東)	三度(東)	三度(東)	三度(東)	三度(東)	三度(東)	三度(東)
二五度(北)	二五度(北)	二五度(北)	二五度(北)	二五度(北)	二五度(北)	二五度(北)	二五度(北)
21.2	4.8	15.1	15.1	15.1	15.1	15.1	15.1
33	25.4	36.7	36.7	36.7	36.7	36.7	36.7
60	7/10	白光4 紅光1	白光4 紅光1	白光4 紅光1	白光4 紅光1	白光4 紅光1	白光4 紅光1
18.5	15	17	17	17	17	17	17
霧笛 每四十秒ヲ隔テ四秒吹鳴ス	霧笛 每三十五秒ヲ隔テ三秒吹鳴ス	霧笛 每一分ヲ隔テ四秒吹鳴ス 霧笛吹鳴シ能ハサルトキハ爆發信號ヲ以テ四分毎ニ一回爆發ス 追テ船舶通報取投開始ノ豫定	霧笛 每一分ヲ隔テ四秒吹鳴ス 霧笛吹鳴シ能ハサルトキハ爆發信號ヲ以テ四分毎ニ一回爆發ス 追テ船舶通報取投開始ノ豫定	霧笛 每一分ヲ隔テ四秒吹鳴ス 霧笛吹鳴シ能ハサルトキハ爆發信號ヲ以テ四分毎ニ一回爆發ス 追テ船舶通報取投開始ノ豫定	霧笛 每一分ヲ隔テ四秒吹鳴ス 霧笛吹鳴シ能ハサルトキハ爆發信號ヲ以テ四分毎ニ一回爆發ス 追テ船舶通報取投開始ノ豫定	霧笛 每一分ヲ隔テ四秒吹鳴ス 霧笛吹鳴シ能ハサルトキハ爆發信號ヲ以テ四分毎ニ一回爆發ス 追テ船舶通報取投開始ノ豫定	霧笛 每一分ヲ隔テ四秒吹鳴ス 霧笛吹鳴シ能ハサルトキハ爆發信號ヲ以テ四分毎ニ一回爆發ス 追テ船舶通報取投開始ノ豫定

48		47		46		45		44	
岬威神	港内岩	岬慶辨	岬穂稻	島	島	島	島	島	島
後志國	岩内港	後志國	後志國	後志國	後志國	後志國	後志國	後志國	後志國
43° 20' 21"	43° 0' 31"	42° 50' 11"	42° 15' 33"	41° 52' 7"	41° 52' 7"	41° 52' 7"	41° 52' 7"	41° 52' 7"	41° 52' 7"
140° 21'	140° 31'	140° 11'	139° 33'	140° 7'	140° 7'	140° 7'	140° 7'	140° 7'	140° 7'
月八年一十二治明	月五年四十四治明	月二十年三廿治明	月二十年四廿治明	月九年二十二治明	月九年二十二治明	月九年二十二治明	月九年二十二治明	月九年二十二治明	月九年二十二治明
鐵造	混濁土造	木造	鐵造	木造	木造	木造	木造	木造	木造
圓形	下部方形	四角形	六角形	六角形	六角形	六角形	六角形	六角形	六角形
第一等	第三等	第三等	第三等	第三等	第三等	第三等	第三等	第三等	第三等
紅白交互	閃光	不動白光	閃光	閃光	閃光	閃光	閃光	閃光	閃光
紅光各十五秒	光ヲ發ス、アセチリン瓦斯	光ヲ發ス、アセチリン瓦斯	光ヲ發ス、アセチリン瓦斯	光ヲ發ス、アセチリン瓦斯	光ヲ發ス、アセチリン瓦斯	光ヲ發ス、アセチリン瓦斯	光ヲ發ス、アセチリン瓦斯	光ヲ發ス、アセチリン瓦斯	光ヲ發ス、アセチリン瓦斯
八度(北)	八度(北)	八度(北)	八度(北)	八度(北)	八度(北)	八度(北)	八度(北)	八度(北)	八度(北)
五度(東)	五度(東)	五度(東)	五度(東)	五度(東)	五度(東)	五度(東)	五度(東)	五度(東)	五度(東)
二六度(南)	二六度(南)	二六度(南)	二六度(南)	二六度(南)	二六度(南)	二六度(南)	二六度(南)	二六度(南)	二六度(南)
八度(北)	八度(北)	八度(北)	八度(北)	八度(北)	八度(北)	八度(北)	八度(北)	八度(北)	八度(北)
5.7	11	4.8	18.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
75.4	13.9	24.5	45.4	31.8	31.8	31.8	31.8	31.8	31.8
白光26 紅光10	1/10	1/10	45	1/10	1/10	1/10	1/10	1/10	1/10
23	10	9	18.5	9	9	9	9	9	9
船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ 但シ夜間ハ之ヲ取扱ハス	看守員ヲ置カス		爆發信號 每十分ニ一回爆發ス						

燈臺 北海道西岸

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)



燈臺 北海道西岸

57	56	55	54	53
口川鹽天	島尻燒	毛	狩	石
竿燈	臺燈	臺燈	臺燈	燈
南天鹽川口	南東端	増毛港	西岸	石狩河口
44° 141°	44° 141°	43° 141°	43° 141°	43° 141°
53' 44"	26' 26"	51' 32"	16' 22"	16' 23"
月四年八正大	月二年二正大	月二十年三廿治明	月一年五十二治明	月四年五正大
木造	混濁土造	木造	鐵造	木造
塗裝セス	八角形	四角形	圓形	燈竿三角
電燈	不動白光	電燈	不動白光	電燈
度	全	度	度	度
7	10.8	4.8	12.1	9.9
13.9	50	40.6	14.8	12.4
3/10	18	2	65	1/10弱
12.5	19.5	18	12.5	7
●北海道廳立	看守員ヲ置カス		昭和二年六月一日燈質、燭光數變更	點燈 但シ尋燈位置ハ河口湾筋ノ變更ニ伴ヒ又點 燈期間ハ結氷若クハ流水等ノ狀況ニ依リ執 モ隨時變更スルコトアルヘシ

燈臺 北海道西岸

52	51	50	49
口河狩石	港樽小	港樽小	山和日
燈	燈	燈	臺燈
東岸	北防波堤	南防波堤	高島
43° 141°	43° 141°	43° 141°	43° 141°
16' 22"	12' 1"	12' 1"	15' 1"
月四年五正大	月一十年九正大	月一十年九正大	月十年六十治明
木造	混濁土造	混濁土造	木造
燈竿三角	圓形	圓形	六角形
電燈	不動紅光	不動紅光	電燈
度	全	全	度
9.9	12.4	12.4	7.6
11.8	14.8	14.8	49.4
1/10弱	1/10弱	1/10弱	1
4	9	9	19
●北海道廳立	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス
兩燈ヲ一直線ニ望ミ河口中央ニ至リ右折シテ 進行スヘシ、後燈ハ一五九度三九分(南一二 度四二分東)距離三〇九米一		大正十五年十一月小樽港東防波堤燈臺ヲ改稱	霧笛 每一分二十秒ヲ隔テ四秒吹鳴ス



燈臺 本州北岸及東岸

74		73		72		71	
青森港		青森港		青森港		青森港	
號信霧	臺燈	標浮燈	挂	標浮燈	挂	號信霧	臺燈
東端	西防波堤	青森港	防波堤外	青森港	防波堤外	明神埼	陸奥海
40° 140'	50° 44'					41° 140'	11° 39'
月七年二十正大		月九年五十正大		月九年五十正大		月四年二十三治明	
混泥土造	四角形	鐵造	上部櫛形	鐵造	上部櫛形	鐵造	六角形
瓦	アセチリン	瓦	アセチリン	瓦	アセチリン	瓦	アセチリン
度	全	度	全	度	全	度	全
8.2							18.5
12.4		3.3		3.3			21.2
7/10		1/10弱		1/10弱			70
12		6		8.5			14
霧笛 毎一分ヲ隔テ二分吹鳴ス 毎月一日及十五日ハ日出時ヨリ日没時マズ吹鳴セス 看守員ヲ置カス ●霧笛ハ鐵道省所管、西防波堤燈臺ヨリ二六六度 (北八六度五七分西)距離約一八四米		霧笛 毎一分ヲ隔テ二分吹鳴ス 毎月一日及十五日ハ日出時ヨリ日没時マズ吹鳴セス 看守員ヲ置カス ●霧笛ハ鐵道省所管、西防波堤燈臺ヨリ二六六度 (北八六度五七分西)距離約一八四米		霧笛 毎一分ヲ隔テ二分吹鳴ス 毎月一日及十五日ハ日出時ヨリ日没時マズ吹鳴セス 看守員ヲ置カス ●霧笛ハ鐵道省所管、西防波堤燈臺ヨリ二六六度 (北八六度五七分西)距離約一八四米		霧笛 毎一分ヲ隔テ二分吹鳴ス 毎月一日及十五日ハ日出時ヨリ日没時マズ吹鳴セス 看守員ヲ置カス ●霧笛ハ鐵道省所管、西防波堤燈臺ヨリ二六六度 (北八六度五七分西)距離約一八四米	

本州北岸及東岸

60		59		58	
青森港		青森港		青森港	
號信霧	臺燈	標浮燈	挂	標浮燈	挂
先築防波堤	種内港	北見國	野寒岬	北見國	ノ北西端
45° 141'	27° 39'	45° 141'	15° 14'		
月一十年四十四正大		月二十年三廿治明		月二十年五廿治明	
木造	燈標形	鐵造	圓形	石造	圓形
不動紅光	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス
度	全	度	全	度	全
		10.2		4.5	
2.4		41.8		72.4	
1/10弱		150		19	
3		18		22.5	
霧笛 毎二分ニ低調一聲高調一聲ヲ連吹ス 低調發音二秒沈黙四秒高調發音二秒沈黙一分五十二 秒 船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ 但シ夜間ハ之ヲ取扱ハス		霧笛 毎二分ニ低調一聲高調一聲ヲ連吹ス 低調發音二秒沈黙四秒高調發音二秒沈黙一分五十二 秒 船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ 但シ夜間ハ之ヲ取扱ハス		霧笛 毎二分ニ低調一聲高調一聲ヲ連吹ス 低調發音二秒沈黙四秒高調發音二秒沈黙一分五十二 秒 船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ 但シ夜間ハ之ヲ取扱ハス	

燈臺 北海道西岸 (ト印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)







燈臺

本州北岸及東岸

92		91		90		89		88	
港堤	濱波	小防	屋	島	藏地	燈高港釜鹽	燈低港釜鹽		
竿	燈	號信霧	臺燈	臺燈	燈	導燈	導燈		
東防波堤	小名濱港	磐城國	磐城國	地蔵島	鹽釜港	松島灣	ノ東	鹽釜港	陸前國
36° 140'	56' 55'	37° 141'	0' 0'	38° 141'	19' 5'	38° 141'	19' 1'	38° 141'	19' 2'
月九年三十正大		月二十年二廿治明		月五年九正大		月五年九正大		月五年九正大	
木	竿	白	煉瓦	圓形	黑白橫線	石	八角形	白	色
造	柱	色	造	造	造	造	造	造	柱
電	不動	白	電	閃光	第一等	電	閃光	不動	紅光
燈	光	光	燈	燈	燈	燈	燈	燈	燈
度	全	全	九度東	迄	一七五度	度	全	度	全
7.7			30.5			10.6		12.1	12.1
11.4			79.7			21.2		46	13.3
$\frac{1}{6}$			1,500			$\frac{1}{10}$ 弱		$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{10}$
11.5			23.5			8		10	10
●福島縣立		看守員ヲ置カス		●霧笛 每三十秒ヲ隔テ三十秒吹鳴ス 但シ毎月一日及十六日ハ日出時ヨリ日没時迄吹鳴 ヲ休止ス ●霧笛ハ福島縣石城郡豊間村立		看守員ヲ置カス		内港ニ入ラントスル船舶ハ兩燈ヲ一直線ニ望 ミ進行スヘシ 高燈ハ二六五度(西) 看守員ヲ置カス	
						立		●宮城縣立	

87		86		85		84		燈臺	
卷之石	濱之萩	山華金	崎津歌	稱名臺	燈	類	種	類	種
竿	燈	號信霧	臺燈	竿	燈	類	種	類	種
北上川口	石之卷灣	萩之濱港	石之卷灣	南東端	金華山ノ	陸前國	歌津崎	陸前國	陸前國
38° 141'	25' 20'	38° 141'	22' 27'	38° 141'	17' 35'	38° 141'	42' 34'	緯經	北東
月二年七治明		月九年五十二治明		月一十年九治明		月九年三十正大		月年點初	
木	白	木	白	石	圓形	白	色	木	竿
造	色	造	色	造	形	色	色	造	柱
不動	白	不動	紅	光	閃紅	第二等	電	不動	白
光	光	光	光	光	光	光	燈	光	光
八度西	迄	九三度(南)	迄	二八三度	迄	二二〇度	度	全	度
11.8				11.8			13	上礎基	燈高(米)
16.4				39.7			31.2	上面水	平均
$\frac{1}{10}$ 弱				$\frac{1}{10}$ 弱			$\frac{2}{5}$	數光燭	
8				6			13	(裡)離距達光	
●宮城縣本吉郡歌津村立		●霧笛 每四十五秒ヲ隔テ四秒吹鳴ス 船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ 但夜間ハ之ヲ取扱ハス		看守員ヲ置カス		●宮城縣本吉郡歌津村立		記	
								事	
								立	

燈臺

本州北岸及東岸

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)



燈臺 本州北岸及東岸

勝浦	勝浦	勝浦
燈臺	燈臺	燈臺
上總國	勝浦灣外	勝浦灣外
35° 8' 19"	140°	35° 8' 19"
大正六年三月		
白色	八角形	混濁土造
第一等	連閃白光	連閃白光
二二九度	(南五三度)	(西)ヨリ七
18.2		
70.9		
36		
22		
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス 船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ		

犬吠埼	子鉞港	子鉞港	小防波堤	燈臺名
燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺
下總國	下總國	下總國	下總國	下總國
35° 42' 140"	35° 44' 140"	35° 44' 140"	36° 56' 140"	36° 56' 140"
明治十七年十一月	大正二年九月	大正二年九月	大正十四年十二月	大正十四年十二月
白色	白色	白色	白色	白色
第一等	不動白光	紅光若シクハ紅白二燈	不動白光又ハ紅光	不動白光又ハ紅光
(南七度東)	七九度(北)	七二度(北)	六七度(北)	六七度(北)
27.5	4.5	2.9	9.5	9.5
51.8	13.6	12.4	14.5	14.5
630			1/2	1/2
19.5	2	白光 2 紅光 1.5	12.5	12.5
看守員ヲ置カス ●福島縣立 一ノ岩ニ近寄リタルトキ兩燈ヲ一直線ニ望ミ 遊航スレハ同岩西側ノ暗礁ヲ避ケ入港スルコ トヲ得ヘシ 本燈ノ視線ハ一七九度一分(南三度三五 分西) 低燈ハ河口波浪高キトキ紅白二燈ヲ連揚シ平 燈ナルトキ白光燈一箇、小波アルトキ紅光燈 一箇ヲ點ス 二燈連揚ノ場合ニ於ケル下部ノ燈火ハ基礎上 ノ高サ一米、平均水面上ノ高サ一〇米六				
立町子鉞本郡上海縣葉千●				

燈臺

本州北岸及東岸

(白印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)











燈臺 本州南岸

126	125	124	123	122
水清	埼室石	島元子神	取稻	島宅三
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
大鼻 (舊出鼻)	清水港外	伊豆國	伊豆國	伊豆國
35° 0' 138° 32'	34° 36' 138° 51'	34° 34' 138° 57'	34° 47' 139° 4'	34° 6' 139° 29'
月三年五十四治明	月八年四治明	月一十年三治明	月八年二十四治明	月六年二十四治明
混濁土造	木造	石造	石造	石造
八角形	八角形	圓形	六角形	四角形
電光ヲ發スニテ	電光ヲ發ス、	不動白光	不動白光	不動白光
一七度(北二東)迄	一五二度(南二三度東)ヨリ一七度(北二東)迄	全	二〇〇度(南二四度西)ヨリ三九度(北三五度東)迄	三五三度(北二二度西)ヨリ二〇二度(南二六度西)迄
15.6	6.1	18.2	3.3	7.6
21.5	57	50.6	120.1	22.7
45	65	26	1/10	1/10弱
14	20	19.5	10	8
	昭和二年一月等級燈質、燭光數、光達距離變更	下田港口ハ約六度(北一〇度一八分東)距離五哩	●静岡縣賀茂郡稻取町立 一三一度(南四五度東)ヨリ一八六度(南一〇度西)迄 ハ紅光ヲ以テ神子元島ト陸地間ノ岩礁ヲ示ス	三五三度(北二二度西)ヨリ二〇二度(北二五度東)迄ハ灣内ヲ示ス ●東京府三宅島立 看守員ヲ置カス

121	120	119	118
島大	島ヶ城	埼劍	島カ瀬
號信霧	臺燈	臺燈	標燈
風北	伊豆國	相模國	東京海灣
早端	西端	埼	浦習水道
34° 48' 139° 23'	35° 9' 139° 37'	35° 9' 139° 41'	35° 13' 139° 45'
月四年四正大	月八年三治明	月一年四治明	月八年五正大
混濁土造	圓形	八角形	上黒部
四角形	圓形	八角形	下黒部
電光ヲ發スニテ	電光ヲ發ス、	電光ヲ發ス、	電光ヲ發ス、
一七度(北二東)迄	二五度(北三〇度東)ヨリ二九度(北三四度西)迄	二九七度(北五八度西)ヨリ二九四度(南七九度西)迄	二〇七度(南三一七度西)ヨリ二〇七度(北七九度東)迄
13.6	9.1	12.1	12.1
111.8	29.4	40.6	15.4
30	39	450	1/10
27	15.5	17.5	11.5
大正十五年十二月改築點火假設燈臺撤去	●霧笛 每四十秒ヲ隔テ四秒吹鳴ス 假設燈臺撤去	大正十五年八月一日改築點火	看守員ヲ置カス

燈臺

本州南岸(東京海灣) (口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)







燈臺 本州南岸

144	143	142	141	140
港屋古名 號八第	港屋古名 號六第	港屋古名 號四第	港屋古名 號二第	港外港屋古名 號四第
標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂
ノ航突名 右舷路堤内古屋港	ノ航突名 右舷路堤内古屋港	ノ航突名 右舷路堤内古屋港	ノ航突名 右舷路堤内古屋港	ノ外港航 右舷路
月九年二正大	月九年二正大	月九年二正大	月九年二正大	月四年四正大
鐵上圓紅 造部筒色 造形形色	鐵上圓紅 造部筒色 造形形色	鐵上圓紅 造部筒色 造形形色	鐵上圓紅 造部筒色 造形形色	鐵上圓紅 造部筒色 造形形色
セチリン瓦斯 光ヲ發ス、ア 閃白光	セチリン瓦斯 光ヲ發ス、ア 閃白光	セチリン瓦斯 光ヲ發ス、ア 閃白光	セチリン瓦斯 光ヲ發ス、ア 閃白光	セチリン瓦斯 光ヲ發ス、ア 閃白光
度全	度全	度全	度全	度全
3	3	3	3	3.6
$\frac{1}{10}$ 弱	$\frac{1}{10}$ 弱	$\frac{1}{10}$ 弱	$\frac{1}{10}$ 弱	$\frac{1}{10}$ 弱
7	7	7	7	7
<p>第三號挂燈浮標ト相對シ名古屋港西突燈臺ハ二五度一分(北三〇度三三分東)距離約一哩四九 水深八米五 大正十五年十一月再設置</p> <p>第二號挂燈浮標ト入口ニ近ク第四、六、八、十 號挂燈浮標ハ順次ニ各約六鐘ノ距離ヲ有ス 水深各八米五</p> <p>昭和二年四月淺深工事完成ノ爲メ各舊位置ヨ リ東方六三米六ノ地點へ移轉ス</p>				
立	縣	知	愛	●

139	138	137	136
港外港屋古名 號二第	港外港屋古名 號三第	港外港屋古名 號一第	港屋古名 突西
標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	臺燈
ノ外港航 右舷路	ノ外港航 左舷路	ノ外港航 左舷路	西突堤端 名古屋港
月四年四正大	月四年四正大	月四年四正大	月一十年七世治明
鐵上圓紅 造部筒色 造形形色	鐵上圓紅 造部筒色 造形形色	鐵上圓紅 造部筒色 造形形色	混鐵上四白 凝土造部角形 アセチリン明 ス等
セチリン瓦斯 光ヲ發ス、ア 閃白光	セチリン瓦斯 光ヲ發ス、ア 閃白光	セチリン瓦斯 光ヲ發ス、ア 閃白光	瓦 ス
度全	度全	度全	度全
3.6	3.6	3.6	16.4
$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{10}$ 弱	$\frac{1}{10}$	$\frac{4}{5}$
8.5	6	8.5	13
<p>第一號挂燈浮標ト相對シ名古屋港西突燈臺ハ二五度一分(北三〇度三三分東)距離約一哩四九 水深八米五 大正十五年十一月再設置</p> <p>名古屋港西突燈臺ハ三一六度六分(北三六度 四三分東)距離約二哩九四 水深八米五 大正十五年十一月再設置</p>			
立	縣	知	愛 ●

燈臺 本州南岸



燈臺 本州南岸

153	152	151	150	149
市日四	港屋古名 央中堤突 側西路東水	港屋古名 央中堤突 側東路東水	港屋古名 部頭堤突 東	港屋古名 口川中
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	竿燈
四日市港	東突堤	名古屋港	東突堤	名古屋港
34° 58' 136° 39'	35° 4' 136° 53'	35° 4' 136° 53'	35° 4' 136° 53'	35° 5' 136° 53'
月八年九十治明	月六年五卅治明	月六年五卅治明	月一十年七卅治明	月四年三正大
木四角形	鐵上部筒形	鐵上部筒形	鐵上部筒形	鐵槽形
電光ヲ發ス	瓦アセチリン	瓦アセチリン	瓦アセチリン	電燈
閃光 第六等	明暗二秒	明暗二秒	明暗二秒	不動綠光
東(北八度)迄	度	度	度	度
9.1	6.1	6.1	6.1	7.6
14.2	8.5	8.5	8.5	10.3
45	1/10弱	1/10弱	1/10弱	1/10弱
12	4	7	6	3
● 愛知縣立				

148	147	146	145	燈臺名稱
港屋古名 燈後	港屋古名 燈前	港屋古名 號九第	港屋古名 號十第	燈臺名稱
燈尋	燈尋	標浮燈挂	標浮燈挂	種類
第四號地	名古屋港	ノ航突名 左舷路內	ノ航突名 右舷路內	地位
35° 5' 136° 53'	35° 5' 136° 53'			緯經
月二年十四治明	月九年三十四治明	月一十年七正大	月三年七正大	月年點初
鐵上燈格四紅 下火二角形 造揚個形形	木四角形	鐵上部筒形	鐵上部筒形	造構
電不動紅光	電十紅綠光	セチリン瓦斯	セチリン瓦斯	燈等及級
東(北八度)迄	上下兩燈共	度	度	弧明
上燈28.2 下燈18.2	8.2			上礎基
上燈31.5 下燈21.5	11.2	3	3	上面水
3/4	紅 3/4 綠 1/2	1/10弱	1/10弱	數光燭
上燈16 下燈14.5	11	5	7	(深)離距達光
二三八米一	後燈ハ一三度二九分(北一八度二九分東)距離	水深七米六	第十號挂燈浮標ト相對シ第七號浮標ヲ距ル約六鐘	記
	一直線ニ望ミ入港スヘシ			事
立	縣	知	愛 ●	

燈臺 本州南岸



燈臺

本州南岸(ト印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

162 161 160 159 158

島	菅	島	神	燈高羽鳥	燈低羽鳥	埼	費
臺	燈	臺	燈	燈	燈	臺	燈
菅島	志摩國	北東端	神島ノ道	伊良湖	水島	岩田川口	津市
34° 136°	30° 55'	34° 137°	33° 0'	34° 136°	29° 51'	34° 136°	43° 32'
月七年六治明	月五年三十四治明	月二年五十四治明	月二年五十四治明	月二年五十四治明	月七年八十治明		
煉瓦造	圓形	白鐵造	下部四角形	上部圓形	白鐵造	圓筒形	白鐵造
不動	白	電	閃光	閃光	電	不動	不動
白	光	燈	燈	燈	燈	燈	燈
度(北一二)	度(北一二)	度(北一二)	度(北一二)	度(北一二)	度(北一二)	度(北一二)	度(北一二)
8.6	7.4	3	22.7	15.4	7.6		
54.5	112.7	55.1	42.7	15.4	7.6		
2	7	1 1/4	1 1/4	1 1/4	1 1/4		
20	27	20	18	12.5			

●三重縣津市立

兩燈ヲ一直線ニ望ミ進航スレハ鳥羽港口菅島水道ニ於ケル暗礁ヲ避クルコトヲ得

高燈ハ二四四度三〇分(南六八度三〇分西)

副燈不動白光三百萬燭光ノ弧光電燈ヲ以テ約六〇度(北六五度東)距離七健ノ「コヅカミ」礁最淺部上ヲ光射ス(立標ノ部參照)

船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ但夜間ハ之ヲ取扱ハス

157 156 155 154

港市日四	港市日四	港市日四	港市日四	稱名臺燈
燈	燈	燈	燈	類
右航路ノ	防波堤内	四日市港	四日市港	防波堤上
34° 136°	57° 38'	34° 136°	57° 39'	34° 136°
月九年五十正大	月五年五十正大	月五年五十正大	月五年五十正大	月五年五十正大
鐵	鐵	鐵	鐵	鐵
上部構形	四角形	四角形	四角形	四角形
閃光	不動	不動	不動	不動
光	紅	紅	紅	紅
度(北一二)	度(北一二)	度(北一二)	度(北一二)	度(北一二)
3.3	12.1	14.5	12.5	14.9
1 1/10	1 1/2	10	1 1/4	1 1/4
6	15	12	12.5	12.5

深淵區域ヲ示ス

四日市港防波堤燈臺ハ一二〇度一五分(南五四度一分東)四日市港高燈ハ二七三度五分(北八〇度二分西)四日市燈臺ハ三一九度五分(北三三四度二分西)水深九米一

看守員ヲ置カス

後燈ハ前燈ヨリ二七六度一七分(北七七度五九分西)距離四七〇米

看守員ヲ置カス

深淵ヲ經テ入港セントスル船舶ハ兩燈ノ三燈火ヲ一直線ニ望ミ進航スヘシ

看守員ヲ置カス

燈臺

本州南岸







燈臺 内海(瀬戸内)

188	187	186	185	184
港南堤波防東	堤突港崎ケ尼	堤突北阪大	堤突南阪大	川津木
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
南東防波堤	頭西突堤	ノ極端	ノ南突堤	木津川口
神戶港	尼ヶ崎港	北突堤	大阪港	大阪
34° 135°	34° 42' 135°	34° 38' 135°	34° 38' 135°	34° 37' 135°
月五年七正大	月四年四十大	月六年九十三治明	月六年九十三治明	月五年一十治明
鐵櫓紅色	鐵櫓白色	鐵六角形白色	鐵六角形白色	煉瓦圓形白色
瓦アセチリン	電燈	瓦アセチリン	瓦アセチリン	不動紅光
明三秒暗三秒	不動紅光	明二秒暗二秒	明二秒暗二秒	明暗白光
度全	度全	度全	度全	三三八度 (北一八度 西) ヨリ二 四八度(南 七三度西)迄
10.6	7.6	7.9	7.9	8.8
12.7	10.8	11.8	11.8	13
3/10	1/5	1/4	1/2	1/10弱
11.5	11	11.5	11.5	9
看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス ●兵庫縣尼ヶ崎市立 大正十五年十月本燈燈質變更復舊假燈撤去	看守員ヲ置カス		

燈臺 内海(瀬戸内)

183	182	181	稱名臺燈	種類
塚	本洲	島ケ友	紀伊國	友ケ島
臺燈	竿燈	臺燈	紀伊國	友ケ島
中波止場	和泉國	洲本港	淡路國	西端
34° 135°	35' 27'	34° 134°	21' 54'	34° 17' 135°
月九年十治明	月二十年四十治明	月六年五治明	月年點初	
木六角形	木竿柱	石圓形	造構	
不動綠光	電燈	明暗白	燈及級	
度(北七一 度西)迄	度全	度(南五七 度西)迄	弧明	
9.7	7.6	9.2	上礎基	燈高(米)
17	9.7	60	上面水	平均
1/10弱	1 3/4	9	數光燭	
8.5	10.5	20.5	(運)離距達光	
●大阪府立	●兵庫縣津名郡洲本町立	看守員ヲ置カス	記	
			事	



燈臺 内海(瀬戸内)

197	196	195	194	193
堤突港砂高	埼江	磯平	岬田和	設假港戸神第 號四第
臺燈	臺燈	標燈	臺燈	標浮燈挂
東突堤端 高砂港 播摩國	ノ北端 淡路島	平磯上 明石瀬戸	和田岬 神戸港	西南防波堤 神戸港
34° 44' 134° 48'	34° 36' 135° 0'	34° 37' 135° 4'	34° 39' 135° 11'	
月九年一十正大	月四年四治明	月一十年六廿治明	月八年五治明	月一十年六正大
石四木櫓上紅 造形下鐵部色	石圓白 造形色	混圓黑 凝土形色	鐵六角紅 造形色	鐵三角上圓紅 造形部形色
電燈	不動紅光	不動白光	第三等	閃白光
度	全	全	全	全
6.1	4.5	12.7	13.9	3.5
9.4	48.5	12.7	16.7	1/10弱
1/10	9	1/10弱	11	1/10弱
10.5	19	8.5	13	8
●兵庫縣加古郡高砂町立	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	●内務省所管 東防波堤南燈臺ハ三二度一五分(北三七度七分東)川崎鼻所在航路立標ノ内南東寄標ハ三五〇度四五分(北三度四三分西)和田棧橋先端ハ三一八度一五分(北三度一四四分西)水深十二米七

192	191	190	189
設假港戸神第 號三第	設假港戸神第 號二第	設假港戸神第 號一第	港戸神 北堤波防東
標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	臺燈
東南防波堤	ノ二南端	内フ南東ヨリ直線向堤	北東防波堤
31° 135°	41° 12'		
月一十年六正大	月一年十正大	月一年十正大	月五年七正大
鐵三角上圓紅 造形部形色	鐵三角上圓紅 造形部形色	鐵三角上圓紅 造形部形色	鐵櫓白 造形色
閃白光	閃白光	閃白光	閃白光
度	全	全	全
3.3	3.3	3.3	10.6
1/10弱	1/10弱	1/10弱	12.7
4	8	4	11.5
●内務省所管	●内務省所管	●内務省所管	看守員ヲ置カス
東防波堤南燈臺ハ三五七度三分(北三度二分東)川崎鼻所在航路立標ノ内南東寄標ハ三一八度一五分(北三度四三分西)和田棧橋先端ハ二八六度三分(北七度一三分西)水深約一〇米九〇分(南七度三分西)東防波堤ノ工事ノ進捗ニ從ヒ豫定線ノ上方ニ隨時異動シ其ノ先端(浮標)ヨリ二九〇米ニ至ラシム	東防波堤南燈臺ハ三五七度三分(北三度二分東)川崎鼻所在航路立標ノ内南東寄標ハ三一八度一五分(北三度四三分西)和田棧橋先端ハ二八六度三分(北七度一三分西)水深約一〇米九〇分(南七度三分西)東防波堤ノ工事ノ進捗ニ從ヒ豫定線ノ上方ニ隨時異動シ其ノ先端(浮標)ヨリ二九〇米ニ至ラシム	東防波堤南燈臺ハ三五七度三分(北三度二分東)川崎鼻所在航路立標ノ内南東寄標ハ三一八度一五分(北三度四三分西)和田棧橋先端ハ二八六度三分(北七度一三分西)水深約一〇米九〇分(南七度三分西)東防波堤ノ工事ノ進捗ニ從ヒ豫定線ノ上方ニ隨時異動シ其ノ先端(浮標)ヨリ二九〇米ニ至ラシム	看守員ヲ置カス

燈臺 内海(瀬戸内)



燈臺 (内海(瀬戸内))

206	205	204	203	202
瀬ノゾオ	瀬ノ中	設假港松高	島木男	岩ワナカ
標浮燈挂	標浮燈挂	竿燈	臺燈	標燈
ノ東端	西ノ端	高松港	男木島	
34° 134°	21° 3'	34° 21' 134°	26° 3'	
月二十年九正大	月三年二十正大	月一十年四十大	月二十年八廿治明	
形鐵造	形鐵造	木造	石造	白
形上部櫓	形上部櫓	戴ク	圓形	色
セチリン瓦斯	セチリン瓦斯	不動紅光	閃光	第六等
度	度	度	度	度
3	3.3	1.6	12.4	
1/10弱	1/10弱	1/10弱	9/10	
6	7.5	4	12.5	
水深一米四	●鐵道省所管	●香川縣立	看守員ヲ置カス 前高松港燈臺跡ハ北方三四米 港改修工事中設置	建築中

201	200	199	198
鼻角大	瀬ノ鹿	濱新	磨佈
臺燈	標浮燈挂	標燈	臺燈
南東端	ノ南側	五干新赤	西波止場
34° 134°	26° 20'	34° 43' 134° 24'	34° 47' 134° 40'
月四年二正大	月一十年四正大	月八年十正大	月一年二十三治明
鐵造	鐵造	石造	木造
六角形	圓形	圓形	四角形
瓦アセチリン	セチリン瓦斯	セチリン瓦斯	電燈
度	度	度	度
7	3.6	5.9	7
60.3	1/10	1/10	11.2
2	8.5	9	7/10
20.5			11
船通報ニ關スル事務ヲ取扱フ	風ノ子鳥ニ遮ラル、部分ハ燈光ヲ望見スルヲ得ス	●兵庫縣赤穂郡新濱村立	●兵庫縣飾磨郡飾磨町立

燈臺 (内海(瀬戸内)) (口印ハ船通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所) 四二



燈臺 内海(瀬戸内)

215	214	213	212	211
高井神島	百貫島	六島	瓦洲	波節岩
燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺
備後灘	東口	備後灘	廣島ノ	廣島ノ
34° 134'	34° 18'	34° 18'	34° 133°	31° 43'
月二十年十正六	月五年七十二治明	月二十年一十正六	月七年二十四治明	月二年八十二治明
八角形	圓形	圓形	鐵格形	圓形
紅光ヲ發シ、ア	光ヲ發ス、ア	アセチリン	セチリン	セチリン
度(北七六)	度	度	度	度
9.1	7.6	7.6	3	11.8
134.5	74.5	63.6	1/10弱	1/10
20	10	1/4	7	10
29	22.5	21		
			水深一七米七	看守員ヲ置カス

210	209	208	207
洲ノ沖	島子ツ三	鍋島	宇野港
燈臺	燈臺	燈臺	燈臺
廣島ノ	廣島ノ	鍋島	宇野港
34° 133°	34° 22'	34° 23'	34° 29'
月七年二十四治明	月七年三十正六	月一十年五治明	月四年四十四治明
形鐵造	圓形	圓形	木造
光ヲ發ス、ア	光ヲ發ス、ア	光ヲ發ス、ア	不動白光
度	度	度	度
3	6.1	6.7	5.7
1/10弱	1/5	紅光 4/5 綠光 1/2	1/10弱
5	12	15	7
水深二〇米	看守員ヲ置カス		岡山縣立

燈臺 内海(瀬戸内)











燈臺 内海(瀬戸内)

242	241	240	239	238
瀬イガンセ	鼻開新	石龜	石白	瀬ノ中
標燈	竿燈	竿燈	標燈	標燈
瀬(伊賀)	伊豫瀬沖 家室島沖 センガイ	廣島瀬 大野瀬戸 新開鼻	廣島瀬 大野瀬戸 白石岩上	廣島瀬 大野瀬戸 ノ西方 大黒神島 ノ西方
33° 132°	49' 22'	34° 17' 132°	18' 18' 132°	34° 11' 132° 16' 22'
月一年四正大	月五年二十三治明	月七年五十三治明	月四年六十三治明	月四年六十三治明
混土造	木竿柱	鐵竿柱	石圓形	混土造
下形鐵部	紅黒横線	紅黒横線	紅黒横線	紅黒横線
光ヲ發ス、ア	閃白	不動紅	不動白	閃白
度全	度全	度全	度全	度全
	6.1		16.7	
11.5	8.8	7.5	18.8	12.4
1/10	1/10弱	1/10弱	1/10	1/10
11	4	3	11	11
看守員ヲ置カス	●廣島縣佐伯郡嚴島町立 看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス

燈臺 内海(瀬戸内)

237	236	235	234
島美沙那小	石形屋	瀬筏	ンバゴノ西
臺燈	標燈	標浮燈挂	標燈
美小島	廣島瀬	江田島	廣島瀬
34° 132°	17' 22'	34° 18' 132°	4' 26'
月三年七十三治明	月二年七十三治明	月二年二和昭	月三年七十三治明
鐵圓柱形	石圓形	鐵圓筒形	下部石造
瓦アセチリン	不働白光	不働白光	不働白光
度全	度全	度全	度全
4.8			
39.4	7.5	3	17
1/10	1/10弱		13/10
11	8.5	7	12.5
看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	●海軍省所管 吉浦ノ西方山頂(一三米)ハ四八度五〇分(北五三度三八分東)、大麗女島南端ハ一〇三度一七分(南七一度五五分東)、小用ノ南東方ノ岬ハ一九四度二五分(南一九度一三分西) 水深七米六	二五八度(南八三度西)ヨリ三一一度(北四四度西)迄ハ紅光ヲ以テ大ゴパン礁及ヒ「エビガヒレ」岩ヲ示ス 看守員ヲ置カス



燈臺

内海(瀬戸内)

(ト印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱ノ箇所)

251 250 249 248 247

港江守	堤突西港分大	堤突北港分大	埼關	岬田佐
標燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
ノ守江後國	頭西大	頭北大	地西北	佐田岬
洲上	部堤港	部堤港	埼關ノ	伊豫國
33° 25' 131° 39'	33° 15' 131° 35'	33° 15' 131° 35'	33° 16' 131° 54'	33° 20' 132° 2'
月八年三十三治明	月二年二正大	月二年二正大	月七年四十三治明	月四年七正大
煉瓦造	圓形	圓形	圓形	八角形
不動白光	紅光	紅光	白光	白光
第五等	第四等	第四等	第四等	第三等
二七七八度(北七七度西)ヨリ八八度(南八七度東)迄	全度	全度	九四度(南八二度東)ヨリ零度(北四度東)迄	二六五度(南八九度西)ヨリ二一四度(南八八度西)迄
10.9	9.7	9.7	7.6	15.1
1/10	1/10	1/10	18	70
11	7	10	22	19
	看守員ヲ置カス ●大分縣立		大正十五年七月燭光數變更	船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ 但夜間ハ之ヲ取扱ハス

246 245 244 243

ロジホ	島屋	堤波防港濱長	島瀬無水小	稱名臺燈
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	種類
ホーシロ	南屋伊豫	頭防長伊		地在所
東祝周	端島ノ	部堤港國		緯北東
33° 44' 132° 1'	33° 43' 132° 8'	33° 37' 132° 29'		置
月八年二十正大	月七年二十四治明	月一年三十正大		月年點初
混濁土造	圓形	三角櫛形		造構
白光	白光	不動白光		燈及級
第五等	第五等	不動白光		明
全度	二五一度(南七五度西)ヨリ一五度(南六〇度東)迄	全度		弧
6.1	4.3	5.4		上礎基
36.7	56.3	8.6		上面水
1/5	8	1/10		數光燭
13	20	2		(運)離距遠光
看守員ヲ置カス		看守員ヲ置カス ●愛媛縣喜多郡長濱町立 在來ノ長濱港假設掛燈浮標撤去	建築中	記事

燈臺

内海(瀬戸内)







燈臺 (内海(下關海峡))

269	268	267	266	265
燈低關下	戸瀬 瀬観 早潮	埼司門	浦ノ壇	西伏金
燈	標浮燈挂	標燈	臺燈	標浮燈挂
ノ海岸	沿埠東下關海峡	早瀬瀬戸	ノ東下關海峡	ノ金東下關海峡
33° 130°	58' 57"	33° 58' 130°	58' 58"	33° 58' 130°
月五年四十三治明	月七年十正大	月七度三十正大	月四年六十二治明	月一十年二十正大
下部石造	上部鐵造	圓形	白色	鐵造
上部鐵造	圓形	白色	鐵造	圓形
電燈	不動紅光	電燈	明暗紅光	電燈
度	全	度	全	度
13.6	3	5.8	9.1	17.3
1/4	1/10	1/2	1/10	1/10
12	8	10.5	13	8
看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス

264	263	262	261
東伏金	伏金	西洲ノ中	洲ヶ飛
標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂
東金伏燈ノ	東金伏燈ノ	東金伏燈ノ	東金伏燈ノ
月一十年二十正大	月四年八十三治明	月三年八十三治明	月三年八十三治明
鐵造	鐵造	鐵造	鐵造
上部鐵造	上部鐵造	上部鐵造	上部鐵造
電燈	電燈	電燈	電燈
度	全	度	全
3	3	3	3
1/10	1/10	1/10	1/10
8	8	8	8
看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス

燈臺 (内海(下關海峡))



燈臺 内海(下關海峡)

278	277	276	275	274
沖里大	鼻ノ底山	島流巖	瀬キシコ	省道鐵港關下 號五第面前橋棧
標浮燈挂	臺燈	臺燈	標浮燈挂	標浮燈挂
大里沖	山底鼻	南東端	キ瀬東方	棧橋前面
西口	西口	巖流島	西口コシ	鐵道省
下關海峡	下關海峡	下關海峡	下關海峡	下關港
	33° 55' 130° 55'	33° 56' 130° 56'		
月五年三十正大	月九年七正大	月二十年三正大	月四年八十三治明	月八年四正大
檜形鐵造	石部鐵造	石部鐵造	鐵上部鐵造	鐵上部鐵造
形上部	形上部	形上部	形上部	形上部
截頭圓錐	截頭圓錐	截頭圓錐	截頭圓錐	截頭圓錐
紅色	紅色	紅色	紅色	紅色
明暗紅光	明暗紅光	明暗紅光	明暗紅光	明暗紅光
明四秒暗二秒	明四秒暗二秒	明四秒暗二秒	明四秒暗二秒	明四秒暗二秒
ピンチ瓦斯	ピンチ瓦斯	ピンチ瓦斯	ピンチ瓦斯	ピンチ瓦斯
度全	度全	度全	度全	度全
3	10.9	7.6	3	3.3
1/10弱	1/5	1/10	1/10	1/10弱
8	11.5	10	8	8
金ノ岬燈臺ハ二九九度(北五六度一二分西)、山底ノ燈臺ハ三五八度三〇分(北三度三二分東)、巖流島燈臺ハ一三度二〇分(北一八度二分東)水深一八米	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	日和山著松ハ三三度三〇分(北一八度一五分東)、下關測候所三角點ハ四九度二分(北五四度東)、白木崎著社ハ一一三度八分(南六二度一五分東)水深六米三

燈臺 内海(下關海峡)

273	272	271	270
省道鐵港關下 號三第面前橋棧	省道鐵港關下 號二第面前橋棧	省道鐵港關下 號一第面前橋棧	燈高關下
標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	燈
棧橋前面	棧橋前面	棧橋前面	ノ丸山
鐵道省	鐵道省	鐵道省	下關東端
			33° 58' 130° 57'
月八年四正大	月八年四正大	月八年四正大	月五年四十三治明
鐵上部鐵造	鐵上部鐵造	鐵上部鐵造	鐵上部鐵造
形上部	形上部	形上部	形上部
截頭圓錐	截頭圓錐	截頭圓錐	截頭圓錐
黑色	黑色	黑色	白色
明暗綠光	明暗綠光	明暗綠光	不動紅光
明三秒暗二秒	明三秒暗二秒	明三秒暗二秒	明三秒暗二秒
ピンチ瓦斯	ピンチ瓦斯	ピンチ瓦斯	ピンチ瓦斯
度全	度全	度全	度全
3.3	3.3	3.3	5.4
1/10弱	1/10弱	1/10弱	10
8	4	4	14
日和山著松ハ三五八度三〇分(北三度一五分東)、下關測候所三角點ハ三三度八分(北三度九度四分西)、白木崎著社ハ一一三度八分(南六二度一五分東)水深六米三	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス

示標ヲ路航船絡連及城區深淺  
舵標浮、リア板潮示ノ白右赤左ニ部上標浮  
ス轉回ニ向方同ト  
管所省鐵●











燈臺 本州北西岸

308	307	306	305	304
岬郷西	埼藏地	岬ノ日	島馬	港津宇 堤波防北
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
西南島隱 郷東接岐 岬端ノ國	北西角 美保灣ノ 出雲國	日出雲國	馬濱田港口	頭北津見 防波津港 部堤港島
36° 10' 133° 20'	35° 34' 133° 19'	35° 26' 132° 38'	34° 54' 132° 3'	34° 47' 131° 9'
月三年十正大	月一十年一廿治明	月四年六十三治明	月五年一十三治明	月一十年五十正大
混濁土造	石圓形	石圓形	煉瓦圓形	混濁土造
二閃光ヲ發ス	電閃光ヲ發ス	電閃光ヲ發ス	電閃光ヲ發ス	電閃光ヲ發ス
東(北八八度迄)	東(北八八度迄)	東(北八八度迄)	東(北八八度迄)	東(北八八度迄)
9.1	10	38.8	7.6	5.0
110.3	82.7	63.3	33.5	6.8
30	630	600	18	1/10弱
27	23.5	21.5	16.5	4
	九分東)距離二哩		光ヲ以テ「シャックリ」燈ヲ示ス	●山口縣立 一九度(北二四度東)ヨリ二二度(北二七度東)迄ハ紅

燈臺 本州北西岸

303	302	301
島ノ角	牛	特
臺燈	臺燈	臺燈
北西端	特牛	蓋井島
34° 130°	34° 19' 130° 53'	34° 6' 130° 47'
月三年九治明	月一年五十四治明	月七年五十四治明
石圓形	混濁土造	混濁土造
光ヲ發ス	電閃光ヲ發ス	電閃光ヲ發ス
東(北八八度迄)	東(北八八度迄)	東(北八八度迄)
26	4.2	13.1
43.3	26.4	39.7
180	白光+紅光 1 1/2	30
18.5	15	25.5
	「クズセ」ハ約三三〇度(北二五度西)距離八哩	紅光ヲ以テ三五度(北四〇度東)ヨリ九五度(南八〇度東)迄ハ鼠島、壁岩及港口附近ノ危險燈ヲ、又一〇四度(南七一七度東)ヨリ一七〇度(南五度東)迄ハ二子島及港口附近ノ危險燈ヲ示ス



燈臺 本州北西岸

317	316	315	314	313
設假港賀敦	埼石立	山城濱高	岬奕博	鼻本三
標浮燈挂	臺燈	竿燈	竿燈	竿燈
石先端	敦賀灣口	越前國	博奕岬	舞鶴港口
豫定線捨	敦賀灣口	越前國	博奕岬	舞鶴港口
波堤延長	敦賀灣口	越前國	博奕岬	舞鶴港口
敦賀港防	敦賀灣口	越前國	博奕岬	舞鶴港口
35° 46' 136°	35° 30' 135°	35° 33' 135°	35° 33' 135°	35° 30' 135°
月九年四十四正大	月七年四十四治明	月六年五十五正大	月三年四十四正大	月八年四十四正大
鐵造	石造	木造	木造	鐵造
上部槽形	圓形	竿柱	竿柱	竿柱
閃光	閃光	不動白光	不動白光	不動白光
光ヲ發ス、ア	光ヲ發ス、ア	光ヲ發ス、ア	光ヲ發ス、ア	光ヲ發ス、ア
セチリン瓦斯	セチリン瓦斯	セチリン瓦斯	セチリン瓦斯	セチリン瓦斯
度	度	度	度	度
3.3	5.4	9.1	6.5	5.4
1/10弱	2	2/5	1/10弱	1/10弱
6	24	14	8	6
●内務省所管	●敦賀港突堤燈臺ハ八四度(北八九度四八分東)距離二〇〇米、水深一六米三	●福井縣大飯郡高濱町立	●海軍省所管 岬端北東方至近カブラグリ(高〇、六米)ハ三度半(北三〇度半東)距離六五〇米、無雙ヶ鼻(二〇四△)ハ二八二度半(北七二度半西)カス ●海軍省所管 大正十五年七月燭光數光達距離變更	●海軍省所管 看守員ヲ置カス

燈臺 本州北西岸

312	311	310	309
岬ヶ經	露燈	賀高	露燈
臺燈	露燈	賀高	露燈
經ヶ岬	賀露	因幡國	因幡國
丹後國	賀露	因幡國	因幡國
35° 47' 135°	35° 32' 134°	35° 32' 134°	35° 33' 133°
月二十年一廿治明	月七年五十五正大	月七年五十五正大	月一十年八廿治明
石圓白	木竿白	木竿白	木六角白
造形色	造柱色	造柱色	造柱色
閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス	閃光ヲ發ス
テ八秒間ニ三	テ八秒間ニ三	テ八秒間ニ三	テ八秒間ニ三
度(北四一	度(北四一	度(北四一	度(北四一
9	9.1	8.2	9.1
143.6	24.2	10.6	16
330	3/10	4/5	3 1/2
30	13	11.5	12.5
●鳥取縣氣高郡賀露村立	●海軍省所管 看守員ヲ置カス	●海軍省所管 看守員ヲ置カス	●海軍省所管 看守員ヲ置カス
千代川口ニ入ラントスル船舶ハ兩燈火ヲ一直線ニ望ミ進航スヘシ	高燈ハ一九一度三〇分(南一六度五〇分西)距離約五五〇米	高燈ハ一九一度三〇分(南一六度五〇分西)距離約五五〇米	高燈ハ一九一度三〇分(南一六度五〇分西)距離約五五〇米



燈臺 本州北西岸

326	325	324	323	322
崎剛祿	港堤島波輪防	岬山猿	浦福	尾白
燈	燈	燈	燈	燈
能登國	頭防波堤	猿山岬	福浦港口	白尾
37° 137'	37° 136'	37° 136'	37° 136'	36° 136'
32° 20'	21' 54"	19' 43"	5' 43"	44' 41"
明治十年六月七年	昭和二年二月	大正九年十一月	明治三十三年八月	大正三年七月
石圓白	鐵四角形	混濁土造	木四角形	木四角形
不動白	電燈	不働白	電燈	電燈
九度(南)	全	二〇度(北)	二九度(北)	二〇度(北)
7.9	5.7	9.1	4.8	4.8
46.3	7.6	212.4	20.3	18.8
18	2/5	100	1/5	2/5
19	10	35	13	13.5
石川縣立	石川縣立	石川縣立	石川縣立	石川縣立

燈臺 本州北西岸

321	320	319	318
石金	港堤國波三防	港賀敦	堤突港賀敦
燈	燈	燈	燈
金石町	頭防波堤	南西	突堤頭部
36° 136'	36° 136'	35° 136'	40' 4"
36' 30"	13' 8"		
明治十三年八月	大正五年四月	明治三十四年五月	大正三年五月
木四角形	鐵三角形	形鐵造	鐵四角形
電燈	電燈	電燈	電燈
三三度(北)	全	全	全
5.1	12.6	2.7	7.6
18.2	15.2	1/10	11.6
1/10	4/5	1/10	1/10
9	12.5	8	10
石川縣立	石川縣立	石川縣立	石川縣立



燈臺 本州北西岸

335	334	333	332	331
燈高港木伏	燈低港木伏	出歌和	瀬大	礁淺
燈 導	燈 導	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂
六 伏 越	突 伏 越	ノ 和 七	西 大 七	北 淺 七
渡 木 中	堤 木 中	南 歌 尾	方 瀬 ノ 尾	西 方 ノ 尾
寺 港 國	頭 港 國	西 方 出 灣	方 方 灣	方 方 灣
36° 48'	36° 48'			
137° 4'	137° 4'			
月四年八正大	月十年十治明	月十年十四治明	月十年十四治明	月十年十四治明
鐵 櫓 紅	鐵 櫓 紅	鐵 上 圓 黑	鐵 上 圓 黑	鐵 上 圓 黑
造 形 色	造 形 色	造 部 筒 色	造 部 筒 色	造 部 筒 色
電 不 動 紅 光	瓦 アセチリン 明二秒暗二秒	セチリン瓦ス 光ヲ發ス、ア	セチリン瓦ス 光ヲ發ス、ア	セチリン瓦ス 光ヲ發ス、ア
度 全	度 全	度 全	度 全	度 全
17.6	8.2			
19.4	12.7	3	3	3
1 1/2	1/10	1/10弱	1/10弱	1/10弱
13.5	11.5	4	6	7
<p>兩燈ノ一直線ニ望ミ進航スルトキハ伏木港漁業區域ヲ避ケ入港スルコトヲ得ヘシ 兩燈ノ視線ハ一九三度四五分(南一九度四五分西)看守員ヲ置カス 大正十五年十月高燈ノ燭光數光達距離變更</p>		<p>七尾町愛宕山佛閣ハ二〇七度一四分(南三二度四分西)、ウスギ塔緒屋ハ二八三度四分(北七〇度五分西)、須曾ノ屏風南端ハ二八三度四分(北七〇度五分西)、松ヶ塔南端ハ一五度四分(北二一度東)本浮標ノ西方ヲ通航スヘシ 水深一六米四</p>		<p>福浦村北端ハ五九度四分(北六四度三〇分東)、ウスギ塔ノ緒屋ハ二三一度四分(南五六度三〇分西)、松ヶ塔ノ南端ハ二九二度一四分(北六二度二〇分西)水深七米三</p>

燈臺 本州北西岸

330	329	328	327	稱名臺燈
リグ田森	口灣尾七	燈高灣尾七	燈低灣尾七	類 種
標 浮 燈 挂	臺 燈	燈 導	燈 導	類 種
森 七 尾	觀 七 尾	山 松 七 尾	荒 七 尾	地 在 所
田 森 尾	香 尾	上 ヶ 尾	神 尾	緯 北
上 田 尾	塔 尾	上 塔 尾	鼻 尾	經 東
	37° 7'	37° 6'	37° 7'	月 年 點 初
	137° 3'	136° 58'	137° 1'	月 年 點 初
月六年二十正大	月一年三正大	月三年十四治明	月三年十四治明	造 構
鐵 上 圓 黑	混 四 白	鐵 圓 白	混 圓 白	造 構
造 部 筒 色	凝 角 形 色	造 柱 形 色	凝 土 造 形 色	燈 等
セチリン瓦ス 光ヲ發ス、ア	瓦 アセチリン 明三秒暗三秒(紅光分弧)	瓦 アセチリン 不動白光	瓦 アセチリン 不動白光	燈 等
度 全	度 全	度 全	度 全	質 級
	7.6	6.7	9.1	質 級
	30.6	61.5	15.4	弧 明
1/10弱	白光 2/5 紅光 1/10	7/10	2/5	弧 明
6	白光 15.5 紅光 11.5	19	12.5	上 礎 基
				上 面 水
				數 光 燭
				(運)離距達光
<p>記 事</p> <p>兩燈ヲ一直線ニ望ミ進航スレハ灣口祖濱出シ七甲礁及森田礁ノ暗礁ヲ避ケ入港スルコトヲ得 高燈ハ二五九度二四分(南八四度五分西) 低燈明弧内二二二度(南八四度西)ヨリ二五七度(南八三度西)迄ハ七甲礁ヲ又二六一度(南八七度西)ヨリ三〇二度(北五三度西)迄ハ祖濱出シ及森田礁ヲ執レモ紅光ニテ示ス 低燈ハ看守員ヲ置カス 一〇六度(南六八度東)ヨリ一九九度(南二四度西)迄ハ紅光ヲ以テ灣口ノ岩礁多キ危險區域ヲ示ス 野崎ノ東南角ハ四七度二五分(北五二度五分東)、觀音塔ノ北端ハ一〇七度五分(南六七度三〇分東)、福浦村ノ北端ハ二二七度三五分(南五三度西)水深七米三</p>				



燈臺 本州北西岸

343	342	341	340
港崎士	田酒	關ヶ鼠	港潟新
臺燈	臺燈	臺燈	標導設假
北雄物川口	北岸先端	西南端	沈床
39° 140'	38° 139'	38° 139'	37° 139'
月四年二和昭	月十年八十二治明	月四年四十正大	月六年五十正大
鐵造	木造	木造	木造
電燈	電燈	電燈	電燈
不動白光	明暗紅光	不動白光	不動白光
度(南六〇度東)迄	度(北六五度西)ヨリ一八九八度(南三四度西)迄	度	度(北八七度東)ヨリ三六七度(南三七度西)迄
10.6	13.6	5.4	5.8
13.1	16.7	6.8	6.4
3 1/2	1 1/2	1/5	紅・白光 1/10 弱
12	13	10	白光 8 紅光 5
●秋田縣南秋田郡土崎港町立	看守員ヲ置カス 大正十五年八月明弧變更	●山形縣西田川郡念珠園村立	●新潟縣立 看守員ヲ置カス 後標高基礎七米二七 前標ハ紅(東方)白(西方)ノ二燈横列シ其分界ニ隔板ヲ備フ前後二標ノ見透線及前標紅白光ノ分界線ハ埋設沈床ノ方向ト一致スルヲ以テ入港船ハ該見透線ヲ避ケ前標白燈ヲ左舷ニ望ミ進航スヘシ 前標ヨリ後標ハ一七七度四〇分(南四度西)距離一六米 看守員ヲ置カス

339	338	337	336
堤波防港潟新	埼	埼	津魚
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
頭西防波堤	彈	夷灣口	角魚津町
37° 139'	38° 138'	38° 138'	36° 137'
月六年四十正大	月二十年八正大	月二十年八廿治明	月十年四正大
混泥土造	混泥土造	鐵造	木造
瓦	第三等	不動白光	電燈
明暗白光	第一等	不動白光	不動白光
度	度	度	度
9.1	16.7	12.1	10
13.8	73.6	41.5	12.1
1 1/4	30	1 1/4	6
12	22.5	18	11.5
看守員ヲ置カス	ツ龜山頂ニ遮斷セラルヘシ	九三度(南八〇度東)ヨリ九七度(南七七度東)迄ハ二	●富山縣下新川郡魚津町立

燈臺 本州北西岸



燈臺 四國東岸、南岸及西岸

354	353	252	351
港堤 島突 小南	瀬龜於	港島德	港島德
臺燈	標燈	標燈	竿燈
頭南小阿 突松波 堤島港 部堤港國	於沖小阿 龜瀬島波 上港港國	德島港口	德島港口
34° 1' 134° 36'	34° 2' 134° 38'	34° 3' 134° 36'	34° 3' 134° 35'
月九年十正大	月九年一十正大	月十年五十正大	月十年五十正大
鐵 槽 白 造 形 色	混 鐵 上 紅 凝 造 部 黑 土 下 棹 橫 造 部 形 線	鐵 四 黑 造 角 色 造 形 色	木 竿 黑 造 柱 色
瓦 ア明明 ス セ二暗暗 斯 リン秒暗秒 光	セ七每每 チチ四四 リリ秒秒 ンン一 瓦瓦閃 斯斯光	セ七每每 チチ四四 リリ秒秒 ンン一 瓦瓦閃 斯斯光	電 不 不 燈 動 動 白 白 白 光 光 光
度 全	度 全	度 全	度 全
4.4			6.4
7.2	8.8	7.5	8.4
$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{10}$ 弱	$\frac{1}{10}$ 弱
9.5	10.5	7.5	8
看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス
立 縣 島 德 ●			

四國東岸、南岸及西岸

347	346	345	344
港堤 浦波 深防	埼道入	設假港川船	川 船
臺燈	臺燈	標浮燈挂	臺燈
頭防深陸 波浦奥國 部堤港國	ノ男羽 北鹿後 端半島國	築設先 防波堤 船後國	根船羽 ノ川後 埼灣國
40° 39' 139° 55'	40° 0' 139° 42'		39° 52' 139° 50'
月二十年五十正大	月一十年一卅治明	月五年六正大	月十年七十二治明
混 四 鐵 上 紅 凝 角 造 部 色 土 形 下 棹 橫 造 形 部 形 線	鐵 六 白 造 角 色 造 形 色	鐵 圓 白 造 錐 形 色	木 四 白 造 角 形 色
電 不 不 燈 動 動 白 白 白 光 光 光	光 每 閃 第 ヲ十秒ニ一 一 發スニ一閃 等 ス	不 不 動 動 白 白 光 光	(綠紅光分弧) 不 不 動 動 白 白 光 光
度 全	度 全	度 全	度 全
5.1	24.4		3.9
8.9	55.7	2.9	43
$\frac{2}{5}$	57	$\frac{1}{10}$ 弱	$\frac{1}{10}$ 弱
10.5	20	2	9
●青森縣立 看守員ヲ置カス	●秋田縣立 看守員ヲ置カス	●秋田縣立 看守員ヲ置カス	●秋田縣立 看守員ヲ置カス
記 事			

燈臺 本州北西岸







燈臺 九州東岸及南岸

378	377	376	375	374
油津港低燈	內防海堤	內海港燈	內海港燈	戶崎鼻燈
尋	臺	尋	尋	臺
日向國	日向國	日向國	日向國	日向國
31° 131°	31° 45' 131° 29'	31° 45' 131° 28'	31° 45' 131° 28'	31° 47' 131° 29'
月九年二正大	月九年五十正大	月九年五十正大	月九年五十正大	月五年五正大
煉瓦造 六角形 白色	混泥土造 四角櫓形 白色	木造 塗裝セテ 竿柱	混泥土造 六角形 白色	煉瓦造 六角形 白色
不動白弧光	電燈	電燈	不動紅光	不動白弧光
一九一五度 (南) 西ヨリ六度 (北) 迄	全	全	二二六度 (南) 西ヨリ三三度 (北) 迄	一八三度 (南) 西ヨリ三度 (北) 迄
5.4	7.7	7.8	8.3	5.4
41.5	10.3	41.7	11.7	86.6
1/10弱	1/10弱	1/10弱	紅光1/10弱 白光10	1/10弱
7	3	6	10	7.5
ケ一直線ニ望ミ進ムト瀬ト瀨ト中央ヲ進行シ得ヘシ		在來ノ内海燈竿ハ廢止ス	低燈明弧内二二六度(南六一度西)ヨリ三三四度(北四一度西)迄ハ紅光ヲ以テ港内ノ傘塔及館塔等ノ危險區域ヲ示ス	看守員ヲ置カス
立	縣	崎	宮	●

燈臺 九州東岸及南岸

373	372	371
島細	港呂々士	島子ノ水
臺	臺	臺
日向國	日向國	日向國
32° 131°	25° 41' 32° 131°	31° 41' 33° 10' 132°
月五年三十四治明	月十年九十三治明	月三年七十三治明
煉瓦造 六角形 白色	煉瓦造 六角形 白色	石造 圓形 黑白横線
不動白弧光	電燈	閃光 第一等
二〇六度 (南) 西ヨリ三度 (北) 迄	二七〇度 (南) 西ヨリ二七〇度 (北) 迄	全
5	2.9	36.4
104.8	28.5	56.3
1/10弱	1/10弱	688
7.5	6	20
看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	二三四度(南五八度西)ヨリ二七〇度(北八六度西)迄ハ紅光ヲ以テ瀬ヶ瀬及其以南ノ危險ヲ示ス
立	縣	崎



燈臺 九州南岸

387	386	385	384	383
鹿兒島港 (設假)	鹿兒島	鹿兒島 北場止波新	鹿兒島 辨天臺場	鹿兒島 南場止波新
標浮燈柱 拾石南端	標浮燈柱 外ノ淺洲ノ	竿燈 新波止場	竿燈 辨天臺場	竿燈 南一丁臺場
築北防波堤 鹿兒島港	甲突川口	鹿兒島港	鹿兒島港	鹿兒島港
		31° 36' 130° 34'	31° 36' 130° 34'	31° 36' 130° 34'
月九年五十五正大	月二十年十正大	月二十年十四治明	月二十年十四治明	月四年二十治明
鐵上部櫛形 造	鐵柱形 造	木造	木造	鐵四角櫛形 造
閃紅光 光ヲ發ス、ア セチリン瓦斯	明暗白 光	不動綠 光	不動紅 光	不動紅 光
度全	度全	度全	度全	度全
3.6	2.1	5.7	5.1	10.3
$\frac{1}{10}$ 弱	$\frac{1}{10}$ 弱	$\frac{1}{10}$ 弱	$1\frac{1}{4}$	$\frac{1}{10}$ 弱
6	6	4	11	6
●新波止場南燈竿ハ三三八度五四分(北一六度五四分西)屋久島岸燈籠(紀念燈)ハ二一四度五四分(南三九度一五分西)水深十米七 ●内務省所管	●鹿兒島縣立	●鹿兒島縣立	●鹿兒島縣立	看守員ヲ置カス

382	381	380	379
油津港	鞍	佐	多
燈臺	燈臺	燈臺	燈臺
日向國	日向國	日向國	日向國
31° 34' 131° 24'	31° 34' 131° 24'	31° 0' 130° 39'	31° 34' 130° 35'
月二十年十正大	月二十年十正大	月八年七十治明	月十年元正大
石六角形 造	白六角形 造	白八角形 造	紅八角形 造
明暗白 光	明暗白 光	不動紅 光	不動紅 光
度全	度全	度全	度全
6.6	9.7	6.1	7.3
$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{10}$	26	$\frac{1}{10}$ 弱
7.5	24	21	9.5
●高燈ハ二度一九分(北五度五二分東)、距離約一三六九米一 ●看守員ヲ置カス ●大正十五年七月低燈ノ光達距離變更	●立縣崎宮	●看守員ヲ置カス	●看守員ヲ置カス

燈臺 九州東岸及南岸

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)



燈臺 九州西岸

394	393	392	391
島刀馬上	島戸	鼻崎長	埼掛釣
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
上馬刀島 ノ南東	肥後國 天草下島 ノ南東	長島海峡 戸島ノ	薩摩國 下飯島 ノ南端
32° 130°	32° 130°	32° 130°	31° 129°
16' 9"	12' 5"	8' 7"	37' 41"
月四年十三治明	月四年十三治明	月四年十三治明	月二十年九廿治明
石圓白	石圓白	鐵六角白	煉瓦十角白
造形色	造形色	造形色	造形色
瓦アセチリン	瓦アセチリン	瓦アセチリン	瓦アセチリン
明暗白光 （紅光分弧）	明暗白光 （南一四度）	明暗白光 （南一四度）	明暗白光 （南一四度）
度	度	度	度
4.8	4.6	12.4	10.9
19.7	47.6	26	141.5
1/10	1	10	92
11	19	15	29.5
看守員ヲ置カス	大正十五年十一月燈質、燭光數、光達距離變更		

九州西岸及北岸

岬ノ坊	稱名臺燈	種類	位置
薩摩國	薩摩國	薩摩國	薩摩國
31° 130°	15° 13'	緯經	北東
月七年一十正大	月年點初	月年點初	月年點初
混濁土造	八角形	造	構
電三ツテ	每十八秒	燈質	等級
閃光ヲ發ス	間隔	燈質	等級
燈	ス	燈質	等級
二〇度東	迄	弧	明
9.1	上礎基	燈高(米)	
84.8	上面水	平均	
200	數光燭		
23.5	(哩)離距達光		
	記		
	事		

燈臺 九州南岸







燈臺 九州西岸及北岸

412	411	410	409	408
大立島	松島後燈	松島前燈	松島低燈	伊王島
肥前國	肥前國	肥前國	肥前國	長崎港口
33° 129°	32° 129°	32° 129°	32° 129°	32° 43' 129° 46'
明治二十七年八月	大正十五年五月	大正十五年五月	大正十五年五月	明治二十四年七月
鐵造	鐵造	鐵造	鐵造	鐵造
圓形	三角形	三角形	三角形	六角形
閃光	不動紅光	不動紅光	不動紅光	閃光
全度	全度	全度	全度	全度
7.6	6.1	6.1	9.1	7
82.7	31.2	27.6	19.9	6.3
3	1/10弱	1/10弱	1/10弱	18
23.6	4	4	4	21
<p>平瀬立標ハ約九七度四五分(南七八度一〇分東)距離一哩一健</p> <p>内浦灣ニ入ラントスル船舶ハ三燈ヲ一直線ニ望ミ進航スレハ灣外センガン瀬ノ中瀬及ツクノ磯等ノ暗礁ヲ避クルヲ得</p> <p>高燈ノ後燈ハ低燈ヨリ一九八度(南七七度五分西)距離二八九米七、低燈ト高燈ノ前燈間二三五米五看守員ヲ置カス</p> <p>●長崎縣西彼杵郡松島村立</p> <p>紅光ヲ以テ一三三度(南四二度東)ヨリ一四九度(南二六度東)迄ハ色瀬ヲ、又二九五度(北六一度西)ヨリ三二〇度(北三六度西)迄ハ小立島及附近ノ暗礁ヲ示ス</p>				

燈臺 九州西岸

407	406	405	404
尾ノ島	女島	瀬ノ島	五通礁
長崎港口	長崎港口	長崎港口	早崎瀬戸
32° 129°	32° 129°	32° 130°	34° 7' 130°
明治十四年三月	明治十四年三月	大正二十年二月	明治三十三年三月
鐵造	鐵造	鐵造	鐵造
八角形	八角形	圓錐形	圓錐形
閃光	閃光	閃光	閃光
全度	全度	全度	全度
10.6	21.4	3.6	11.5
4/6	1/10	1/10	1/4
14	8.5	11	
<p>看守員ヲ置カス</p> <p>大久保山頂ハ一〇七度二〇分(南六八度三五分東) 尾ノ島燈臺ハ二二五度四〇分(南四九度四五分西) 鼠島南端ハ三一二度五〇分(北四三度五分西) 水深二三米六</p> <p>建築中</p>			



燈臺 九州西岸及北岸

421	420	419	418	417
島子帽烏	島 鷹	島 神 二	島 岐 志 古	瀬 白 島 五
燈 臺	燈 臺	燈 臺	燈 臺	燈 臺
烏 東 壹 岐 水 道 帽子 口 島	鷹 呼 子 港 口 島	二 西 壹 岐 水 道 神 島 口	古 北 宇 五 島 列 島 志 東 久 島 列 島 岐 方 ノ	瀬 白 島 五 瀬 岩 上 島 列 島 平 島 ノ 西 方
33° 41' 129° 59'	33° 34' 129° 54'	33° 36' 129° 33'	33° 18' 129° 10'	33° 11' 128° 48'
月八年八治明	月二十年四十治明	月四年七正大	月九年七十二治明	月四年八十三治明
鐵 八 白 造 角 形 色	混 八 白 凝 角 形 色	混 八 白 凝 角 形 色	木 四 白 造 角 形 色	木 四 白 造 角 形 色
不 動 白 光	瓦 (アセチレン) 紅 光 分 光 ス	二 隔 每 二 隔 每 二 隔 每 二 閃 光 間 閃 光 間 閃 光 間 閃 光 間 光 秒 ス 光 秒 ス 光 秒 ス 光 秒 ス	閃 光 分 光 ス	瓦 (アセチレン) 紅 光 分 光 ス
度 全	度 全	度 全	度 全	度 全
13.3	4.5	12.1	6.7	4.5
56.3	48.5	97.5	65.7	36.4
17 1/2	白 光 1 紅 光 1 綠 光 1 5 5 10	35	15	5 5
20	白 光 11 紅 光 8 綠 光 7	25	21.5	15
對 岸 東 松 浦 郡 呼 子 村 在 此 處 退 息 所 へ 信 號 ノ 爲 左 記 時 間 紅 色 又 ハ 綠 色 燈 光 ヲ 發 光 ス 北 三 三 度 東 三 一 月 三 日 四 月 九 日 十 月 十 二 月 十 三 日 十 五 日 十 八 日 十 九 日 同 時 三 〇 分 迄	一 一 四 度 (南 六 二 度 東) ヨ リ 一 四 四 度 (南 三 二 度 東) 迄 ハ 綠 光 ヲ 以 テ 白 島 ヲ 示 ス 又 一 七 六 度 (南 一 度 西) ヨ リ 二 〇 一 度 (南 二 六 度 西) 迄 ハ 紅 光 ヲ 以 テ 平 瀬 及 折 瀬 ヲ 示 ス 看 守 員 ヲ 置 カ ス			紅 光 ヲ 以 テ 四 一 度 (北 四 五 度 東) ヨ リ 六 三 度 (北 六 七 度 東) 迄 ハ 高 瀬 會 根 ヲ 示 ス 又 二 五 一 度 (南 七 五 度 西) ヨ リ 二 六 四 度 (南 八 八 度 西) 迄 ハ 帆 揚 岩 及 干 出 一 米 五 岩 ヲ 示 ス 看 守 員 ヲ 置 カ ス

燈臺 九州西岸及北岸 (ト印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

416	415	414	413
埼 瀬 大	埼 後	向 白	瀬 伏
燈 臺	燈 臺	燈 臺	燈 臺
福 江 島	北 大 村 灣 口	港 外 佐 世 保	南 平 戸 島 ノ 肥 前 國
32° 37' 128° 36'	33° 6' 129° 40'	33° 6' 129° 38'	33° 5' 129° 27'
月二十年二十治明	月九年五十正大	月八年七十二治明	月十年七十三治明
鐵 圓 白 造 形 色	鐵 櫓 白 造 形 光	混 圓 白 凝 土 造 形 色	混 圓 紅 凝 土 造 形 線
閃 光 分 光 ス	不 動 白 光	瓦 (アセチレン) 紅 光 分 光 ス	光 分 光 ス
度 全	度 全	度 全	度 全
10.9	10.7	3.5	21.5
81.8	82.3	15.4	21.5
180	1	白 光 1 紅 光 1 10 10	1 5
23.5	23	白 光 10 紅 光 8	14
但シ夜間ハ之ヲ取扱ハス	● 海軍省所管 船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ	看 守 員 ヲ 置 カ ス	看 守 員 ヲ 置 カ ス
		二 六 六 度 (西) ヨ リ 八 六 度 (東) 迄 ハ 紅 光 ヲ 以 テ 蟹 瀬 諸 嶋 及 中 ノ 瀬 ヲ 示 ス	



燈臺 九州北岸

430	429	428	427	626
島大界玄	島 沖	島 三	燈後港原嚴	燈前港原嚴
臺 燈	臺 燈	臺 燈	燈 導	燈 導
北 大 筑 西 島 前 端 ノ 國	ノ 沖 東 對 頂 水 馬 上 島 道 海 ノ 島 道 峽	ノ 對 北 馬 端 國	嚴 對 原 馬 港 國	嚴 對 原 馬 港 國
33° 55' 130° 25'	34° 15' 130° 6'	34° 44' 129° 27'	34° 12' 129° 17'	34° 12' 129° 17'
月一十年五十五正大	月四年八十三治明	月八年七十二治明	月六年二十正大	月六年二十正大
混 四 白 凝 角 色 土 形 色 造 形 色	混 四 白 凝 角 形 色 土 造 形 色	木 四 黑 造 角 白 形 形 橫 造 形 線	木 竿 白 造 柱 色 造 柱 色	木 竿 白 造 柱 色 造 柱 色
スア閃テ毎連第 セ光五十五閃五 チヲ秒間秒五 リ發間秒五 ンスニヲ 瓦二隔光等	ヲ更ニテ二連第 ヲ隔ニ四十四閃 テ二光秒紅一 閃十ヲ間秒白 紅五發ニヲ交 光秒シ白隔光等	瓦ア明明第 セチ二秒暗五 リニ秒光等 ンス二秒光等	電 不 電 燈 動 燈 紅 紅 光 光	電 不 電 燈 動 燈 紅 紅 光 光
度西)迄 度(南七四 ヨリ二四九 三八度東) 三三度(北	度 全	度西)迄 度(北四一 ヨリ三一四 五六度東) 五一度(北	度西)迄 度(北八六 ヨリ三 西)ヨリ三 五九度(北 四度東)迄	度西)迄 度(北八六 ヨリ三 西)ヨリ三 五九度(北 四度東)迄
9.1	10.6	5.4	5.4	6.4
51.1	246	16.7	42.7	27.3
40	250	1 $\frac{1}{4}$	$\frac{1}{10}$ 弱	$\frac{1}{10}$ 弱
19.5	37.5	13	6	6
		北東距離約一哩半ノ間韓塔礎斗出ス	●長崎縣嚴原町立 看守員ヲ置カス	前後兩燈ヲ一直線ニ望ミ進航スレハ折瀬ノ暗礁ヲ避 ケ入港スルコトヲ得ヘシ 後燈ハ三一四度(北四一度二一分西)距離一三六米三 看守員ヲ置カス

425	424	423	422
埼 良 耶	埼 神	埼 酸 豆	宮 若
竿 燈	臺 燈	標 燈	臺 燈
耶 嚴 對 良 原 馬 埼 港 外 國	ノ 對 南 馬 端 國	大 南 豆 南 對 瀬 瀬 酸 西 馬 上 方 埼 端 國	ノ 若 壹 北 宮 岐 端 島 國
34° 12' 129° 18'	34° 5' 129° 13'	34° 6' 129° 10'	33° 52' 129° 41'
月六年三十正大	月九年七十二治明	月九年二十四治明	月四年八十三治明
木 竿 白 造 柱 色 造 柱 色	混 八 白 凝 角 形 色 土 造 形 色	混 圓 黑 凝 土 形 白 造 造 線	石 八 白 造 角 形 色 造 形 色
電 不 電 燈 動 燈 白 白 光 光	閃 每 閃 第 光 十 光 四 ヲ 五 白 等 發 秒 光 等 ス 一 光 等	セ光二毎連第 チヲ秒間秒七 リ發間秒二隔 ンスニヲ 瓦二隔光等	瓦ア明明第 セチ二秒暗四 リニ秒光等 ンス二秒光等
度西)迄 度(南五六 ヨリ一一九 南八度西) 一八三度	度西)迄 度(南一四 ヨリ一 西)ヨリ一 一四度(南 六二度東)迄	度 全	度西)迄 度(北六七 ヨリ二八九 三一度東) 二七度(北
6.1	9.1	7.6	104.8
45.7	61.5	21.2	104.8
3	39	$\frac{1}{2}$	2
18.5	21	14	24
●長崎縣嚴原町立 看守員ヲ置カス	但シ夜間ハ之ヲ取扱ハス 看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	結船通報ニ關スル事務ヲ取扱フ

燈臺 九州北岸 (印ハ船泊通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)



447 446 445 444

島江伊	城重三	崎原先	島堅
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
ノ西端	那覇港	那覇港口	中城灣口
26° 127°	26° 13' 127° 40'	26° 13' 127° 39'	26° 14' 127° 57'
月三年十三治明	月四年三十三治明	月一十年九廿治明	月一十年九廿治明
鐵八角形	煉瓦造 四角形	煉瓦造 圓形	鐵六角形
閃光ヲ發ス	電燈 (紅光分弧)	閃光ヲ發ス (紅綠光分弧)	不動白光
第一等	第一等	第六等	第四等
三三三度	度(南一三)	八八度(東)	二二〇度
30.3	3.7	12.1	12.4
51.5	10.3	29.1	24.2
180	3	9/10	2
19.5	11	15.5	14.5
	紅光ヲ以テ八八度(東)ヨリ一二二度(南五七度東)迄ハ唐船口ノ南ニ方ル淺瀬ヲ、又一二二度(南五七度東)ヨリ一九一度(南三三度西)迄ハ唐船口ノ北東ニ方ル干ノ瀬自加瀬及伊那武瀬ヲ示ス	紅光ヲ以テ三二二度(北三四度東)ヨリ一五一度(南二七度東)迄ハ唐船口ノ南ニ方ル淺瀬ヲ、又綠光ヲ以テ一六八度(南一〇度東)ヨリ二〇七度(南二九度西)迄ハ唐船口ノ北東ニ方ル「モリ」ノ瀬ヲ示ス	三四八度(北一〇度西)ヨリ五八度(北六〇度東)迄ハ紅光ヲ以テ淺瀬ヲ示ス

443 442 441

崎高津會	港瀬名	島久屋	稱名臺燈
臺燈	竿燈	臺燈	臺燈
ノ西端	梵論瀬崎	ノ北西端	大隅國
28° 129°	28° 27' 129° 39'	30° 23' 130° 23'	
月一十年九廿治明	月一十年元正大	月一年十三治明	
鐵八角形	鐵圓柱形	煉瓦造 圓形	白煉瓦造 圓形
閃光ヲ發ス	瓦	光ヲ發ス	第一等
第三等	アセチリン	不動白光	第一等
三三三度	度(南四九)	六四度(北)	二二〇度
10	3.9	15.1	70.6
133.3	105.1	70.6	180
60	1/5	180	22
29	13	22	
	●鹿兒島縣立		
			記
			事







燈臺 朝鮮東岸

477	476	475	474	473
元山第一號	元山	元山	長德島	石根
標燈浮	標燈	標燈	臺燈	標燈
西端 淺瀬ノ北	突端 防波堤	突端 防波堤	元山港	灣口
長徳島ノ南東方ニ點在スル	元山港	元山港内	元山港内	元山港内
	39° 11' 127° 26'	39° 11' 127° 26'	39° 11' 127° 26'	39° 17' 127° 34'
大正八年三月	明治十四年四月	大正九年二月	明治十四年二月	大正五年三月
鐵造	鐵造	鐵造	鐵造	鐵造
上部櫓形	圓形	圓形	圓形	圓形
光ヲ發ス、ア	閃光	閃光	閃光	閃光
セチリン瓦斯	セチリン瓦斯	セチリン瓦斯	セチリン瓦斯	セチリン瓦斯
度	度	度	度	度
	7.6	7.3	2.4	16.7
3.3	9.7	9.7	14.8	25.4
1/5	1/10弱	1/5	1/10弱	1/5
8.5	8	11	10	12
大正十五年十月位置著色變更	長徳島燈臺ヨリ一三四度距離三鐘四分三	看守員ヲ置カス	ハ紅光ヲ以テ南東方ノ淺瀬ヲ示ス	看守員ヲ置カス

燈臺 朝鮮東岸

472	471	470	469
津湖西	島養馬	津城	南津城
臺燈	臺燈	號信霧 臺燈	標燈
外洋島	陽化灣口	城津港	突端
咸鏡南道	咸鏡南道	城津港	防波堤
			城津港
39° 48' 127° 40'	40° 0' 128° 13'	40° 40' 129° 12'	40° 40' 129° 12'
明治十四年四月	大正元年十一月	明治十四年三月	明治十四年十月
混濁土造	混濁土造	混濁土造	混濁土造
圓形	八角形	八角形	八角形
光ヲ發ス、ア	閃光	閃光	閃光
セチリン瓦斯	セチリン瓦斯	セチリン瓦斯	セチリン瓦斯
度	度	度	度
5.4	6.4	6.1	4.5
44.2	67	51.8	7.1
4/5	14	1 3/4	1/10弱
18.5	21.5	19.5	10
	仙皇堂ノ東側ニ於ケル二三六度(南六三度西)ヨリ二五〇度(南七六度西)迄ハ諸埠角ヲ越テ燈火ヲ認メ得ルモノトス	霧笛 船舶ノ霧中信號ヲ聞ク時ハ毎二十秒ヲ隔テ五秒間宛二十四回吹鳴ス尙必要ト認ムルトキハ五分ヲ隔テテ之ヲ反復ス	看守員ヲ置カス
		大正十五年十一月名稱、燈質、光達距離變更	
			記
			事



燈臺 朝鮮東岸

486		485		484		483		482							
浦龍九		串外冬		灣邊竹		西津文注		東津文注							
竿	燈	號信霧	臺燈	臺	燈	竿	燈	竿	燈						
波堤尖端	九龍浦防	慶尙北道	長響岬	迎日灣	慶尙北道	龍湫岬	江原道	突防波堤	西防波堤	注文津	江原道	突防波堤	東防波堤	注文津	江原道
35° 129'	59' 34'	36° 129'	5' 34'	37° 129'	4' 26'	37° 128'	54' 50'	37° 128'	54' 50'	37° 128'	54' 50'	37° 128'	54' 50'	37° 128'	54' 50'
月八年五十五正大		月二年一十四治明		月二年三十四治明		月十年四十五正大		月十年四十五正大							
土造	鐵筋混凝	八角柱形	白色	煉瓦造	八角形	白色	混凝土造	八角形	白色	混凝土造	八角形	白色	混凝土造	八角形	白色
不動紅光		發間ニ隔テ二閃光ス		連閃白等		閃光ヲ發ス		每二十秒ニ一閃光ス		不動綠光		不動紅光		不動紅光	
度		全		八度西迄		四度東ヨリ三度西迄		一〇六度		二度西迄		五度東ヨリ三度西迄		一六二度	
4		26.4		15.7		1.8		1.8							
5.9		30.9		49.4		2.1		2.1							
		30		46											
2		16		19		1		1							
●慶尙北道所管		看守員ヲ置カス		霧笛		每五十六秒ヲ隔テ四秒吹鳴ス									

管所道原江 ●

燈臺 朝鮮東岸

481		480		479		478		
津文注		端源水		島麗		角麻葛		
臺	燈	號信霧	臺燈	臺	燈	臺	燈	
注文津端	江原道	北東突角	江原道	港外	元山	葛麻半島	元山港口	
37° 128'	54' 50'	38° 128'	41' 22'	39° 127'	14' 38'	39° 127'	12' 29'	
月三年七正大		月三年九十三治明		月三年九十三治明		月一十年七正大		
煉瓦造	圓筒形	白色	混凝土造	八角形	白色	混凝土造	八角形	白色
光五ツ發ス		光二ツ發ス		光一ツ發ス		光一ツ發ス		
度東迄		度東迄		度東迄		度東迄		
9.1		15.1		6.1		7.3		
40.3		40.6		67.3		56.7		
4/5		1 3/4		14		1/5		
17.5		17.5		21.6		12		
		霧笛		每一分ヲ隔テ四秒吹鳴ス		看守員ヲ置カス		

記

事



504	503	502	501
港山釜 設假橋棧二第	港山釜 設假橋棧二第	港堤波防 釜南	港外山釜
標燈	標燈	標燈	標燈
北東方 突端ノ	附西近 西北方	突南端 防波堤	北西方 海雲末ノ
35° 129°		35° 129°	
月三年一十正大	月三年二十正大	月八年三十正大	月四年四十四治明
木圓白 造柱色	木圓白 造柱色	鐵四角形 造	鐵上部橋形 造
不動紅光	不動紅光	瓦ア閃光ヲ發ス アセチリン	瓦ア閃光ヲ發ス アセチリン
度全	度全	度全	度全
		7.6	
2.4	2.4	12.0	3
		1/10弱	1/10
1	1	7	8
●内務局所管	釜山港第二棧橋埠頭築造工事區域ヲ表示ス	●内務局所管 龍洞山頂ハ八二度四分(北八七度二〇分東) 古碕山頂ハ一五八度四分(南一六度東)	●内務局所管 鳥島(一三七米七)ハ一七三度二分(南一度四〇分東)距離一哩五分一釐 古碕山△ハ二四七度二分(南七二度二〇分西) 看守員ヲ置カス 昭和二年三月假設燈標撤去

朝鮮南岸

(朝鮮總督府所管)

489	488	487
岬端功	設假津魚方	崎蔚
臺燈	標浮燈挂	臺燈
功端岬	捨石先端	蔚山港外
35° 129°	22° 22'	35° 129°
月三年九正大	月九年四十正大	月三年九十三治明
煉瓦造	揭ハ燈ハ立ニ上油 夕紅器紅テ本ニ 旗書色ヲ木柱 ツ間和	混濁土造
瓦ア閃光ヲ發ス アセチリン	不動紅光	光ヲ發ス
度全	度全	度全
7.3		6.1
25.7	1.5	43.6
1/5		3
12	1	18.5
看守員ヲ置カス	水深四米三	蔚島ノ南側ハ一三一度距離二釐、工事ノ進捗ニ伴ヒ 漸次移轉スルコトアルヘシ











531		530		529		528		527	
島門港		島茅小		地山		島蘿摩		島牛	
號信霧	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
所安群島	全羅南道	所安群島	全羅南道	濟州島	全羅南道	濟州島	全羅南道	濟州島	全羅南道
34° 126°	0' 36'	34° 126°	14' 46'	33° 126°	31' 33'	33° 126°	7' 15'	33° 126°	29' 58'
月一年二十四治明		月七年三十四治明		月十年五正大		月三年四正大		月三年九十三治明	
混濁土造	圓形	混濁土造	圓形	煉瓦造	圓形	煉瓦造	圓形	煉瓦造	圓形
閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア
九度東)迄	七度(南六	西)ヨリ二	度(南二	度(南二	度(南二	度(南二	度(南二	度(南二	度(南二
6.1	4.5	7.3	6.1	7	121.8	1	38	25	
看守員ヲ置カス		看守員ヲ置カス		看守員ヲ置カス		看守員ヲ置カス		看守員ヲ置カス	

燈臺

朝鮮南岸

印ハ無線電信併置所ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所

526		525		524		523	
島攝		島文巨		水麗		島里所	
號信霧	臺燈	號信霧	臺燈	號信霧	臺燈	號信霧	臺燈
小群島	全羅南道	全羅南道	全羅南道	麗水港外	全羅南道	金務列島	全羅南道
34° 127°	18' 8'	34° 127°	0' 19'	34° 127°	44' 46'	34° 127°	25' 48'
月八年三十四治明		月四年八十三治明		月一十年二正大		月十年三十四治明	
混濁土造	圓形	煉瓦造	圓形	煉瓦造	圓形	混濁土造	六角形
閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア	閃光ヲ發ス、ア
九度東)迄	七度(南六	西)ヨリ二	度(南二	度(南二	度(南二	度(南二	度(南二
4.5	6.1	7	7	51.8	68.5	47	82.1
看守員ヲ置カス		看守員ヲ置カス		看守員ヲ置カス		看守員ヲ置カス	

燈臺 朝鮮南岸

記 事



燈臺 朝鮮西岸

548		547		546		545		544					
島	栗	島	珍	渡	洋	鳴	島	士	加	島	鳥	下	
臺	燈	臺	燈	臺	燈	臺	燈	臺	燈	號	信	臺	燈
ノ無名島	栗島附屬	南	鳴洋渡ノ	全羅南道	珍島北端	干出岩	編鳴洋渡ノ東方	珍島西方	全羅南道	長竹水道	全羅南道	全羅南道	
34° 126°	34° 12'	34° 126°	34° 18'	34° 125°	33° 21'	34° 126°	28° 3'	34° 126°	19° 6'				
月十年五正大	月一十年二正大	月一十年二正大	月一十年二正大	月一十年二正大	月一十年二正大	月一十年二正大	月一十年二正大	月一十年二正大	月一十年二正大	月二年二十四治明	月二年二十四治明	月二年二十四治明	
煉瓦造	圓形	煉瓦造	圓形	煉瓦造	圓形	煉瓦造	圓形	煉瓦造	圓形	煉瓦造	圓形	煉瓦造	
セチリン瓦斯	光ヲ發ス、ア	アセチレン	テ二閃光ヲ發ス	テ二閃光ヲ發ス	テ二閃光ヲ發ス	テ二閃光ヲ發ス	テ二閃光ヲ發ス	テ二閃光ヲ發ス	テ二閃光ヲ發ス	テ二閃光ヲ發ス	テ二閃光ヲ發ス	テ二閃光ヲ發ス	
度	全	度	全	度	全	度	全	度	全	度	全	度	
7.3		7		13.3		7.3		12.1		47.9		23.5	
28.8		18.5		13.3		68.5		47.9		18.5		23.5	
1/5		1/5		1/5		1/5		1/5		1/2		1/4	
12		12		11.5		12		18.5					
<p>霧笛 每五十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備                  (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙                  必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)</p> <p>看守員ヲ置カス</p>													

燈臺 朝鮮西岸

543		542		541		朝鮮西岸	
島	山	島	竹	島	龍	魚	稱名臺燈
號	信	臺	燈	號	信	臺	燈
黑山島	務安郡	孟骨群島	全羅南道	長群島	全羅南道	全羅南道	稱名臺燈
34° 125°	6° 6'	34° 125°	13° 51'	34° 126°	17° 29'		類
月九年十正大	月二十年十四治明	月二十年十四治明	月二十年十四治明	月二十年十四治明	月二十年十四治明	月二十年十四治明	地在所
煉瓦造	圓形	煉瓦造	圓形	煉瓦造	圓形	煉瓦造	位
テ二閃光ヲ發ス	テ二閃光ヲ發ス	テ二閃光ヲ發ス	テ二閃光ヲ發ス	テ二閃光ヲ發ス	テ二閃光ヲ發ス	テ二閃光ヲ發ス	置
度	全	度	全	度	全	度	緯
7.6		6.1		6.1		6.1	北
84.2		85.4		93.3		93.3	東
40		95		13.4		13.4	年
23.5		23.5		23.5		23.5	點
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							初
霧笛 每五十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス							造
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							等
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							級
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							質
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							弧
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							明
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							上
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							礎
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							基
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							面
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							水
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							平均
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							燭
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							數
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							光
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							事
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							記
霧笛 每三十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス、豫備霧笛ヲ備 (船中信號ヲ聞キタルトキハ一分時約十回尙 必要ト認ムルトキハ引續キ前ノ如ク打鐘ス)							事

朝鮮西岸 [朝鮮總督府所管]











燈臺 朝鮮西岸

○印ハ無線電信併置箇所

575	574	○ 573	572	571
燈前川仁	川 仁	島尾月小	島尾八	嶼子長北
燈 導	標 燈	臺 燈	臺 燈	標 燈
海 稅關棧橋	仁川港	仁川港	仁川港口	仁川港口
37° 28' 126° 37'	37° 27' 126° 36'	37° 28' 126° 36'	37° 22' 126° 31'	37° 20' 126° 29'
月四年三十正大	月四年三十正大	月六年六十三治明	月六年六十三治明	月六年六十三治明
樽形鐵造	樽形鐵造	石圓造	混濁土造	石圓造
電 燈	不動紅光	連閃綠光	連閃白光	閃白光
東(北七五度)	全	二一八度(南四三度)ヨリ一六〇度(南一四度東)迄	全	全
12.4	7.3	9.4	7.9	18.2
17.6	13	33	70.9	1/5
1/10	1/10弱	4/5	9/10	1/5
11.5	8.5	15.5	20	12
通航スルコトヲ得	前後兩燈ヲ一直線ニ望メハ仁川内港航路ノ最深所ヲ	看守員ヲ置カス	月尾島退息所ニ無線電信併置、船舶通過報ノ中繼事務ヲ扱フ、月尾島ニ暴風警報標及晴雨計信號標アリ	看守員ヲ置カス

570	569	568	567	稱名臺燈
岩 白	島 鼻	島 鞍	島 德 木	稱名臺燈
標 燈	臺 燈	臺 燈	號信霧 臺 燈	類 種
東水道	仁川港口	仁川港口	忠清南道	地在所
37° 14' 126° 25'	37° 9' 126° 21'	36° 57' 126° 10'	36° 56' 125° 48'	緯 北 東
月六年六十三治明	月四年七十三治明	月三年四十四治明	月三年二十四治明	月 年 點 初
石六角造	石圓造	鐵櫓四角造	混濁土造	造 構
瓦二閃光	連閃白光	閃白光	閃紅白光	燈 等 級
度 全	度 全	度 全	度 全	弧 明
17.9	12.1	7.9	5.7	上 礎 基
1/5	5	3/10	1	上 面 水 平 均
12	17.5	14	20	數 光 燭
看守員ヲ置カス	二六度(北三一五度東)ヨリ三五度(北四一度東)迄ハ副燈不動紅光ヲ以テ二一度(南三六度西)距離約五海里ノ長安嶼ヲ示ス 本燈火ヲ三五度(北四〇度東)以東ニ又白岩燈標燈火ヲ本燈火左方ニ視テ進航セハ長安嶼ヲ避クルヲ得	看守員ヲ置カス	霧笛 每一分三十秒ニ低調一聲高調一聲ヲ連吹ス 低調發音三秒沈黙三秒高調發音三秒沈黙一分廿一秒	記 事

燈臺 朝鮮西岸







燈臺 朝鮮西岸

593	592	591	590	589
道水東江綠鴨 號一第	島和 大	島 潑 飛	島 鐵	浦里 五
標 浮 燈 挂 北 十米界線 東水道口 鴨綠江	臺 燈 宣川灣沖 平安北道	臺 燈 鎮南浦港	標 浮 燈 挂 ル 洲 端 島ノ南西 大同江鐵	臺 燈 ル 脚 角 ニ 突 出 ス 隱 洞 窟 地 大同江魚
39° 26' 124° 35'	38° 43' 125° 25'		38° 39' 125° 14'	
月六年十四治明	月六年七十三治明	月四年二十四治明	月七年二十四治明	月二年四十四治明
鐵 上 部 構 形 瓦 アセチリン	鐵 上 部 構 形 瓦 アセチリン	鐵 上 部 構 形 瓦 アセチリン	鐵 上 部 構 形 瓦 アセチリン	鐵 上 部 構 形 瓦 アセチリン
明 暗 紅 光 明 暗 紅 光 明 暗 紅 光	明 暗 紅 光 明 暗 紅 光 明 暗 紅 光	明 暗 紅 光 明 暗 紅 光 明 暗 紅 光	明 暗 紅 光 明 暗 紅 光 明 暗 紅 光	明 暗 紅 光 明 暗 紅 光 明 暗 紅 光
度 全	度 全	度 全	度 全	度 全
3	21.2	10.3	3	6.1
1/10弱	101.3	20.3	1/10弱	34.3
7	53	1/5	7	1/5
每年結水中撤去	每年結水中撤去		每年結水中撤去	看守員ヲ置カス

588	587	586	585
島 避	島 纂	島 妹 姉	流下江同大
臺 燈 ノ 避 島 水 道 大 同 江	臺 燈 ノ 西 方 避 島 水 道 大 同 江	臺 燈 北 方 席 島 ノ 大 同 江 口	標 浮 燈 挂 北 東 端 下 洲 大 同 江
38° 41' 125° 11'	38° 41' 125° 7'	38° 41' 124° 59'	
月九年一十四治明	月九年一十四治明	月二十年十四治明	月九年四正大
混 凝 土 造 瓦 アセチリン	混 凝 土 造 瓦 アセチリン	混 凝 土 造 瓦 アセチリン	混 凝 土 造 瓦 アセチリン
閃 光 閃 光 閃 光	閃 光 閃 光 閃 光	閃 光 閃 光 閃 光	閃 光 閃 光 閃 光
度 全	度 全	度 全	度 全
3.6	3.6	7.5	3.3
63.3	40	41.3	1/5
1/10弱	3/10	2/5	8.5
9	14	15	
看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス

燈臺 朝鮮西岸



燈臺 關東半島

604	603	602	601
大連港 連大橋 寺兒溝 溝兒橋	南山三島	圓島	海洋島
燈臺	燈臺	燈臺	燈臺
大連港 寺兒溝 橋北端	南山三島	圓島	海洋島
38° 55' 121° 41'	38° 52' 121° 49'	38° 40' 122° 9'	39° 4' 123° 10'
大正三年六月	明治三十三年六月	大正十四年二月	明治十四年十月
白色 不動態光	白色 閃光 第三等	白色 閃光 第三等	白色 不動態光
全	二四八度 (南七三度 西)ヨリ一 六三度(南 二二度東)迄	全	全
12.1	10	12	7.9
18.1	79.7	68.4	59.7
1/5	4	75	1/10弱
11	23	22	約5
看守員ヲ置カス ●南滿州鐵道株式會社立 大正十五年九月一日再點	霧笛 每三十秒ヲ隔テ四秒吹鳴ス	霧笛 每五十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス 無線羅針局ノ部參照	看守員ヲ置カス ●關東廳所管

關東半島

596 595 594

596	595	594
馬島	西江口	水運島
燈臺	燈臺	燈臺
西江口	西江口	水運島
39° 124'	48° 11'	39° 41' 124° 24'
大正十一年一月	明治十四年六月	明治十四年二月
白色 不動態光	紅色 閃光 第一等	白色 閃光 第六等
全	二八二度 (北七二度 西)ヨリ二 四二度(南六 七度西)迄	三四五度 (北九度西) ヨリ一八九 度(南一五 度西)迄
6.1	3.3	6.4
77.6	1/5	53.9
1/4	1/5	9/10
22.5	8.5	19
每年結水中點燈停止	富隆山子西方(三一米)ハ一〇度三〇分(北一六度東) 小寺山頂(四八米)ハ二五度(北三一一度東) 每年結水中撤去	每年結水中點燈停止

燈臺 朝鮮西岸



燈臺 關東半島

613		612		611		610		609	
嘴白黃		連大南口港西		連大北口港西		連大西口港北		連大東口港北	
號信霧	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
(西口角)	黃白嘴	大連灣口	西港口	西港口	北側	西防波堤	北側	西防波堤	北側
38° 121°	54' 43'	38° 121°	56' 38'	38° 121°	56' 38'	38° 121°	57' 38'	38° 121°	57' 38'
月二十年四正大		月五年四正大		月五年四正大		月五年七正大		月五年七正大	
混濁土造	四角形	圓柱	頂部白色	混濁土造	圓柱	頂部紅色	鐵造	四角形	頂部紅色
電	紅白各五秒	電	不動白光	電	不動紅光	電	不動紅光	電	不動紅光
度東)迄	度東)ヨリ六	度	全	度	全	度	全	度	全
7.6		6.7		6.7		17		16.7	
84.5		9.7		9.7		20.5		20.6	
白光18	紅光7	2 1/2		4/5		1 1/4		1 1/4	
23.5		10.5		10.5		13.5		13.5	
看守員ヲ置カス	霧笛 每卅秒ヲ隔テ卅秒吹鳴ス	●南滿州鐵道株式會社立				看守員ヲ置カス			

燈臺 關東半島

608		607		606		605		稱名臺燈	
連大北口港東		連大南口港東		港連大竿燈燈後		港連大竿燈燈前		類	種
臺燈	號信霧	臺燈	號信霧	燈	燈	燈	燈	地	在
東北防波堤	大連港	北東防波堤	大連港	構檢校內	寺兒溝	船灣入口	檢校所	寺兒溝	大連港
38° 121°	56' 40'	38° 121°	56' 40'	34° 121°	55' 40'	38° 121°	55' 40'	緯	北東
月一年二正大		月二年五十四治明		月四年三十四治明		月四年三十四治明		月	年
石造	圓形	頂部紅色	石造	圓形	頂部白色	赤煉瓦屋	燈ヲ掲ク	信號柱ニ	白
電	明三秒暗三秒	電	明三秒暗三秒	電	明三秒暗三秒	電	不動紅光	電	不動紅光
度	全	度	全	度	全	度	全	度	全
8.8		8.8		18.2		7		上	礎基
12.1		12.1		20		8.8		上	面水
1 1/4		3 1/2		1/10弱		1/10弱		數	光燭
11		11		4		4		(運)離	距達光
看守員ヲ置カス		看守員ヲ置カス		●南滿州鐵道株式會社立		●南滿州鐵道株式會社立		●南滿州鐵道株式會社立	
大正十五年十月燈質光達距離變更		霧笛 每十八秒ヲ隔テ四秒吹鳴ス		霧笛ハ南方三〇米三ニ在ル第二信號所ヨリ吹鳴ス		看守員ヲ置カス		●南滿州鐵道株式會社立	
				昭和二五年五月霧角ヲ霧笛ニ變更		ル附近ニ於テ好箇地ヲ得ヘシ		夜間假船セントスル船舶ハ兩燈ヲ一直線ニ見	
				後燈ハ二〇二度(南)七度一四分(西)距離四三		四米		管所應東關 ●	
								記	
								事	



618

老鐵山

燈臺

西角

38° 44' 121° 8'

明治二十六年

白色圓錐形

第一等 白色光 每三秒七次 隔六秒三次 閃光發光

二八三度 (北七三度 西) ヨリ一六八度 (南 八度東) 迄

11.2

96.6

180

25

霧鐘 船舶ノ霧中信號ヲ聞クトキハ大砲ヲ一發ス 爾後該信號ヲ聞カサルニ至ルマテ七分毎ニ一發ス

617

白玉山高山燈

燈臺

南麓

38° 48' 121° 15'

白色方錐形

不動紅光

4.5

46

1 1/2

18.5

看守員ヲ置カス

616

白玉山低燈

燈臺

南麓

38° 48' 121° 15'

白色方錐形

不動紅光

9.1

35.1

1 1/2

17

東岸トノ淺洲ヲ避ケ出入スルコトヲ得

615

老虎尾燈

燈臺

西側

38° 48' 121° 15'

白色長方形

第一等 白色光 每十六秒間ニ一閃光發光 隔六秒三次 閃光發光

二一六度 (南四一度 西) ヨリ一六度 (北四一度東) 迄

2.7

26.7

1/10 弱

7/5

二七〇度(北八五度西)ヨリ三〇〇度(北五五度西)迄及七度(北一二度東)ヨリ三六度(北四一度東)迄ハ紅光ヲ以テ港口左右沿岸ノ危險界ヲ示ス 模珠岩立標ハ約一一三度(南六二度東)距離一哩二鏈

614

遇岩燈

燈臺

大連灣外

38° 34' 121° 38'

紅色圓錐形

第五等 白色光 每四秒ニ一閃光發光

全

15.1

19.8

2/5

13.5

霧鐘 毎一分ヲ隔テ一回打鳴ス 毎年八月、九月及十月ハ霧鐘ヲ休止ス 看守員ヲ置カス

燈臺名稱

種類

位置

北東

初

構造

等級

明弧

燈高(米)

平均

燭光數

光達距離(哩)

記事











燈臺 臺灣南岸及西岸

648	647	646	645	644
イ堆	シカ港	シ平	雄	高
燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺
鼻尾油	臺灣西岸	安平港	高雄港	海側口海
23° 120°	32' 2"	23° 120°	0' 9"	22° 37' 16"
月四年三正大	年四十二治明	年六十治明	月七年二十正大	月七年二十正大
鐵造	煉瓦造	煉瓦造	煉瓦造	煉瓦造
光ヲ發ス、ア	光ヲ發ス、ア	光ヲ發ス、ア	光ヲ發ス、ア	光ヲ發ス、ア
度	度	度	度	度
14.5	5.1	10.9	5.4	12.1
17.6	23.9	58.4	10.3	14.2
4/5	5/10	白光 94 紅光 37	1/10	1/10
13.5	14.5	20.5	4.5	8.5
看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス		看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス

燈臺 臺灣南岸及西岸

643	642	641
燈高口海	燈高口海	燈高口海
燈臺	燈臺	燈臺
東方山腹	臺灣西岸	臺灣南端
22° 120°	5' 43"	21° 120°
月七年二十正大	月四年二和昭	年六十治明
鐵造	鐵造	鐵造
光ヲ發ス、ア	光ヲ發ス、ア	光ヲ發ス、ア
度	度	度
10.6	7.6	17.9
31.5	11.1	55.1
1/10	1/10	26
10.5	10	20
看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス	看守員ヲ置カス

臺灣南岸及西岸 (臺灣總督府所管)

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)